

Kansai University Alumni Association News

關大

第586号

平成27年(2015年)3月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

卒業
特集

贈る言葉—寺内校友会長・楠見学長・池内理事長
新卒業生8人の学生生活4年間の思い出
定年退職6先生のお別れの言葉

トップに聞く⑧ 弁護士法人 あしのは法律事務所
代表社員・弁護士 大仲土和氏

校友の西加奈子さんが直木賞受賞、本学初
2015スプリングフェスティバル
4月5日(日)に千里山キャンパスで開催
第31回支部対抗親睦ゴルフ大会
5月18日(月)に天野山CCで開催

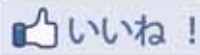


6,100余人の関大生が社会での活躍を胸に学舎巣立つ(写真は昨年の卒業式)

校友会公式Facebookページへの「いいね!」が700件を超えました。

校友会公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/kandai.koyukai>



校友会Facebookページへの「いいね!」をお願いいたします。

Facebookで“関西大学校友会”を検索

2014年9月に開設した校友会公式Facebookページは、校友の皆様のお力添えにより、2015年2月にページへの「いいね!」が700件に到達いたしました。校友会Facebookページでは、より多くの方に楽しんでいただけるよう投稿を続けております。ぜひ、ページへの「いいね!」をお願いいたします。

また、既に「いいね!」を押していただいている皆様には、よろしければ、ご友人に校友会Facebookページをご紹介いただけますと幸いです。

こちらから、繋がっているご友人に、校友会Facebookページをご紹介いただけます。

Click



校友会ホームページから



スマートフォン・タブレットで、QRコードからアクセス

“関西大学校友会Facebookページ”で検索



校友会Facebookページを通し、校友の皆様の“輪”が大きく広がることを期待しております。

卒業特集

- 2 **新卒業生に贈る言葉**—寺内校友会長・楠見学長・池内理事長
卒業に当たって—新卒業生8人の学生生活4年間の思い出
大学を去るに当たって—定年退職6先生のお別れの言葉

本部活動

- 10 **2015 スプリングフェスティバル**
4月5日(日)に千里山キャンパスで開催
総会等開催団体一覧
校友会新年互礼会に270余人集う
第31回支部対抗親睦ゴルフ大会
5月18日(月)に天野山カントリークラブで開催
- 14 **トップに聞く** 校友も是非気軽にご利用を！
弁護士法人 あしのは法律事務所 代表社員・弁護士 大仲 土和氏

大学・学生関係

- 18 **2015年度一般入試・センター利用入試終わる**
志願者数は1.6%減の8万2941人
国立循環器病研究センターと包括的な連携協定を締結
ポリ乳酸繊維と炭素繊維を用いた世界初の圧電ファブリックを開発
野球部が創部100周年、アメフト部が創部80周年を盛大に祝う
全日本フィギュア選手権、高等部宮原知子が初優勝
- 22 創立130周年記念事業募金 **寄付申込者ご芳名<2>**
- 26 **海外支部だより**
中国国内3支部と青島在住校友を訪ねる
- 30 **北から南から**<各地支部だより>
- 43 **校友トピックス** 西加奈子さん(平12学法)が直木賞受賞、本学初
- 44 新刊紹介 訃報



■ 関西大学校友会ホームページ

<http://www.kandai-koyukai.com/>



草の甲

今年も桜開花のニュースが日ごと舞い込んで来る季節になった。桜はそのほかには色と舞い散る様子の美しさから、日本の美と日本人の繊細な感性を象徴する花と言われる。人生や恋愛への思いを桜に重ねた句も数多く詠まれてきた▼『世の中に絶えて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし』(この世に桜がなければ、さぞのんびりと落ち着いて過ごせるものだったろうに)と平安時代に詠んだのは在原業平だが、この時期になるとなぜかそわそわウキウキしてくる。徐々に気温も上がり陽射しも暖かくなって、満開の桜の下で花見宴会を楽しむ日も近い。日本ならではの光景はのどかな春そのものだ▼ところが、世界を見渡すと相も変わらず内乱、テロの連鎖と殺戮が絶えず、人間は学習しない動物なのかと暗澹とした思いになる。生来、日本人は暴力を嫌い平和を愛する国民であるはず。『和をもって貴しと為す』と、はるか昔に聖徳太子も十七条の憲法に記している▼日本は日本らしい方法で世界平和に貢献する道を歩めれば理想的だ。普通に平穏に暮らせる日が来るのを、春を待つように待ちわびている人々が世界にいったい何人いることだろう。地域、境遇によって命の重さが違い過ぎる▼業平への返歌に『散ればこそいとど桜はめでたけれ 憂き世になにか久しかるべき』(桜は散るからこそすばらしい この世に永遠のものなどあるだろうか)という詠み人知らずの歌がある。咲いて散る、それは人の定めも同じだ。がしかし、無駄な命はひとつもないのだ。今年の桜は例年にも増して心に沁みる。

6100余人の関大生が社会での活躍を胸に学舎巣立つ

4年間、関西大学でのキャンパスライフを通じて逞しく成長した関大生たちが、ほろび始めた学園の桜と後輩たちの「おめでとう」の聲に送られて、グローバル社会での活躍を胸に、思い出深い学舎を巣立っていく。

平成26年度学部卒業式は、3月20日、午前10時と午後2時から千里山キャンパスの中央体育館で挙行され、6100余人の新学士が誕生する。

また、大学院学位（修士・専門職）記授与式は、23日午前10時から第2学舎4号館BIGホール100で挙行され、650余人が卒業する。

本号では、「卒業特集」として、寺内校友会長、楠見学

長、池内理事長から、それぞれ「新卒業生に贈る言葉」をいただいた。

また、課外活動やボランティア活動などで充実した4年間を送った8人の新卒業生に、学生時代の思い出と新たな社会に踏み出す決意を語っていただいた。さらに、3月末をもつて関西大学の教壇に別れを告げる先生方の中から、6人の先生に「お別れの言葉」を執筆していただいた。

なお、今年3期生を出した高等部は2月14日に、第一高等学校は2月20日に、北陽高等学校は2月21日に卒業式を挙行し、それぞれ120人、407人、314人が学窓をあとにした。



新卒業生に贈る言葉

新たに始まる“学縁”を大切に

校友会長 寺内 俊太郎



本日の佳き日は、支えて来られたご家族のお力がなければ迎えられないものであり、ご家族の皆様にお礼申し上げます。皆さんも、心からの感謝を是非表に現して戴きたいと思っています。

将来への夢と希望を膨らませ、社会に飛び立とうとしている関西大学卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

さて、入学された4年前の東日本大震災を期に、防災意識の高まりを感じ、社会への関心や家族への思いが強くな

ったとする意識調査があります。この未曾有の体験を、常に心に刻み続けたいものです。

新卒業生の皆さんは、未知の旅へと出発しようとしていきます。これまでの知識や体験では対処出来ない様々な出来事が身の周りに起き、仕事上や私生活でも度々悩む機会が増えてくると思います。

そのような中で、さまざまな驚き、発見、共感、あるいは反発を感じる、多様な生活・文化の体験が自らを磨き、大きくすることを常に感じておいて欲しいと思います。益々グローバル化する現在、氾濫す

る情報の中で本質は何かを見出し、信念を確かなものとするため、自らの視野を広く持ち、そして懐を大きく深くし、感性豊かな人間力を磨いて欲しいと強く念じております。

海外を含む全国各地で活躍中の校友会には、各地の校友で組織運営されている134の地域支部、111の職域会・同期会等があり、関大の同窓であるという結びつきでそれぞれの活動を行っており、校友会が目指す社会との連携、地域との連携に深く関わり、活動の中でそれぞれが人間力を高め、校友の輪を更に広め

ておられます。

皆さんが、これら地域支部等に積極的に所属され、2016年に創立130周年を迎える母校との絆を更に強く、“学縁”を大切に、充実した社会生活の一助としていただければと願っています。卒業後の皆さんの活躍は、母校・関西大学の評価、好感度を高め、一層の充実発展につながることにあります。地域支部等で、また皆さんとお会いしましょう。

卒業生の皆さんの大いなる飛躍を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

新卒業生に贈る言葉

未来を託す君たちに

学 長 楠見 晴重



家族、保護者の方々とともに
お祝いします。

多くの楽しい思い出と貴重な経験を積んだ、この関西大学を巣立っていく皆さん、卒業おめでとございます。皆さんをここまで支えてこられたこ

皆さんが入学した4年前、3月11日に東日本大震災が発生しました。日本全体が大変厳しい状況の中での入学式であつたことを、皆さんも鮮明に記憶していると思います。福島原子力発電所の被害とともに、未曾有の大災害でした。今年の卒業生の中にも東北地方の被災地からの学生がいます。逆境を乗り越えての卒

業に敬意を表します。また、皆さんの中には直接被災地に赴き、ボランティア活動に参加した人もいます。ただ、被災された多くの方が、未だに仮設住宅で暮らす現状があり、関西大学も、1日も早い復旧と復興を祈って、いくつかのお手伝いをして参りました。

皆さんは「震災を経験した世代」として、社会人になつてからも常に被災地に心を寄せ、東北地方の復旧・復興に関心を持ち続けて下さい。

さて、関西大学は、明治19年（1886年）、法律学校としてスタートしてから、今年129年目を迎え、今や長い伝統に支えられ、日本を代表する私立大学の1つとなりま

した。これまで、約43万人の卒業生を世に送り出し、その多くが国内外のあらゆる分野で活躍し、地域社会や国際社会に対して貢献しています。ほとんどの皆さんは、4月から社会人として旅立ちますが、関西大学が築いてきた歴史と伝統は、これからの皆さんの大きな支えとなります。そして、それとともに、今後の皆さんの活躍が関西大学を更に飛躍させていくことにもなります。

関西大学は、来年創立130周年を迎えますが、昨年公募で選ばれた130周年のキヤッチフレーズ「この伝統を、超える未来を。」は、今まで築いてきた関西大学の伝統に想

いを馳せつつ、未来を目指す関大全体の想いを適切に表現しています。この言葉は、単に「伝統を超えよう」と主張しているものではありません。「伝統を。」で読点があります。「関西大学の伝統を深く心に刻み、それを誇りに思う」という意味がこの読点に表され、その誇りの上に立ち、更にそれを超える未来を目指そうという決意が込められています。

関西大学は、「震災を経験した世代」の皆さんに、新たな日本社会、そして人類社会の未来を見据えて、「超える未来を。」を皆さんに託しています。今後の皆さんの活躍を祈念し、私の饒の言葉といたします。

新しい時代をリードして

理事長 池内 啓三



関西大学で立派に学業を修められ、数々の素晴らしい出会いや貴重な経験とともに、

新しい世界へ船出する皆さん、ご卒業おめでとございます。世界的に見ても、教育費の家計負担が大きい我が国において、高等教育修了までにかかる費用は大きなものであります。卒業する皆さんは、周囲への感謝の気持ちを忘れず、新しい世界へ羽ばたいてほしいと願っています。

さて、皆さんが漕ぎ出す社

会は可能性に満ちていますが、同時に、克服しなければならぬ深刻な課題が数多く存在します。国内では若年人口が急激に減少しており、労働生産性の低迷が問題になっていきます。国際的には、経済格差の拡大、欧州政治の混乱に加え、宗教間、宗派間の紛争や地球環境問題など、枚挙にいとまがありません。

こうした状況をふまえ、我が国では、戦後70年を節目としてこれまでの教育制度を見直し、新しい時代の要請に応える人材育成を実現するため、思い切った教育改革を行おう

としています。

本学においても、2008年に「学校法人関西大学の長期ビジョン」を制定し、関西大学が「自ら考え行動する人材」を育成することを明確化し、2008年から10年間かけて、教育、研究、学生支援などの各種改革に取り組んでおります。皆さんは、まさにその只中に関西大学で学び、「考動する関大人」として巣立っていかれるわけです。

これら教育の成果は、すぐに役に立って、実感できるものばかりではないでしょう。しかし、将来振り返ってみて、

過去に受けた教育が本当に良かったと思えるか、真に社会に貢献したといえるかが重要であります。

本学は来年、創立130周年を迎えますが、次のステップである創立150周年を迎える頃には、皆さんが社会の中核として、活躍されていることでありましよう。皆さんが、関大で学んだ成果を携えて、世界中で活躍する全43万校友とともに、次の時代をリードしてくださることを大いに期待しております。

卒業に当たって

学生生活4年間の思い出

学生のための番組作りに
専念、僅かながらも成果

東 奎太（社4）

KBC放送研究会平成26年度本
部長



「お昼の放送、番組内容を知
っていますか？」

答えはNOでしょう。リスナ
ーの少なさはKBC放送研究会
の長年の課題です。私は、幼い
頃からラジオっ子で、番組制作
に興味があり入部しました。担
当はアナウンサーでなく、番組
の構成を考えるディレクター。
初めはプロを真似たラジオを試
みるも、リスナーは増えず、悔
しさだけが残りました。その時、
ひよんなことから新歓オリエン
テーションと学園祭の両実行委
員会を兼務することになります。
実行委員会では、団体や学生の

ために何をするべきか真剣に考
えさせられました。また、多く
の人が1つの目標に向かって活
動する中で、自分にしかできな
いことをする大切さにも気付く
ことができました。

そして、放送でも背伸びせず、
「関大生」を活かした学生のた
めの番組作りに専念。授業から
ヒントを得たコーナーや他団体
ゲストを招いてイベント宣伝、
リクエスト曲をとった学生の目
の前で放送するなど……。初の
試みで技術の壁もありましたが、
部員の力で乗り越えられました。
イベントHPの閲覧数が増え、
度々リクエストする人が現れる
など、僅かながらも成果がでま
した。

KBC部員だけでなく、実行
委員や教職員、関大生、家族な
ど、何百もの人の支えやヒント
があつて1つの番組が完成しま
した。大会で結果を残したなど
の実績は、私にはありません。
しかし、周りに恵まれた人間だ
とは断言できます。

新歓や学祭はもちろん、KBC
のことも書き足りませんが、
紙面の都合上割愛いたします。
700字ではとても書ききれな
い学生生活で関わった皆様に御
礼申し上げます。これから自分

分らしさを忘れず成長していき
ます。また、後輩が「関大生」
を武器に、より一層活躍するこ
とを楽しみにしています。

同期12人が一緒に
強い意思でチームを纏める

井上 花（文4）

ラクロス同好会平成26年度主将



「ラクロス同好会が体育会に
なることで、関大にどんなメリ
ットがありますか？」

主将として新しいシーズンを
迎えた昨春、体育会本部の方に
そう問われ、私たちとの視点の
違いに気づかされました。それ
までは、関西で実力も認められ
つつあり、部員数も86人と大所
帯、なのに「何故私たちは体育
会に昇格できないのか？」とい
う思いがありました。しかし、
本部の方の問いをきっかけて、
「私たちはどうしたら関西大学に

貢献できるのだろう」と思い始
めました。そして、ラクロスと
いうマイナーなスポーツだから
こそ、関西だけでなく全国にそ
の名を轟かせよう。プレー技術
だけじゃない「人間的成長」に
も力を入れようと取り組んでき
ました。

しかし、80人を超える部員
に、私一人では伝えきれるはず
もなく、自身の力不足に悩み
ました。その時に助けてくれた
のは、同期の仲間たち。それぞ
れに個性があり、負けず嫌いで、
何度もぶつかり合った仲間
でした。その同期の12人が最
上級生となり、強い意思を持
って共にチームを纏めてくれま
した。その結果、関西リーグ戦
では3位、そして「PRIDE ON
「ACROSS」賞」というマナー向
上やボランティア活動などの社
会奉仕に貢献したチームに送ら
れる賞を受賞しました。チーム
で受賞した賞ですが、「人間的
成長」の面では、最も身近な仲
間たちが4年間をかけて証明し
てくれたように思います。

今後より躍動するラクロス
同好会に、何が大切かを教えて
下さった関西大学へ貢献するべ
く「人間的成長」の継続と、ユ
ニフォームに刻まれた「ACROSS
ON」への重責を担ってくれる
ことを現役生に望みます。

そして、その過程にいた私た
ち12人の卒業生にとっても大切
な学びの機会であったことに感

謝いたします。

文化会という存在

入澤 栄介（経4）

文化会本部平成26年度本部長



文化会とは、私の大学4年間の
中で欠かすことのできない存在
です。

私は、大学1年生の時から文
化会軽音楽部に所属してしまし
た。そして、2年生1月から軽
音楽部を代表して文化会本部に
も所属することになりました。
2年生1月から3年生の12月は
渉外部として、新入生歓迎オリ
エンテーションや学園祭の実行
委員会に、文化会の代表として
所属し、様々な業務を行いまし
た。行事の運営という初めての
経験に苦労することも多くあり
ましたが、1年間本当に充実し
たものであり、得るものも多く
ありました。

その渉外部の経験を受け、3回生の1月から4回生の12月までの1年間、文化会本部長を務めました。文化会27団体の上に立つものとして自分の出来ることを一生懸命に行っていたという意識を常に持っていました。そんな意識を持っていた反面、団体に問題が生じた時の大学側の方からの厳しい意見や指導、文化会全体の問題に対する本部としての対策を講じた時など、自分がやっていることは正しいのだろっか、団体や他の本部役員の大きな負担になっているのではないかと考えることもあり、自分が本部長でよかったのだろっかと考えることも多くありました。

しかし、12月に行われた文化会総括が終了した後に、多くの団体の主将さんから「1年間ありがとうとございまして」という言葉をいただいたいき、本部役員達からも「た色紙にも、あなたが本部長でよかった」というようなコメントがあり、本当に嬉しく、やってよかったなと思えました。

文化会でのこの経験は、私にとって本当に大切なものになりました。これからはこの経験を社会で少しでも活かしていきたいと思っています。

憧れを上回る かけがえのない学生生活

北野 彩葉（文4）
学術研究会本部平成25年度本部長



関西大学は中学生のときから、私の憧れでした。

当時、関大で開催されたセミナーに参加したときに、初めてみた大学のキャンパス、教授、大学生たちは、私にとってキラキラした夢の世界のようでした。そんな大学に入学できると分かったときはとても嬉しく、運命的なものを感じました。卒業する今になって振り返ってみても、関大生活を通して今の私が形成されている事実、感謝とともに不思議な感覚です。

この4年間で、本当に様々なことを経験させていただきました。サークル、授業支援SA、ゼミ活動等、とても言い尽くせませんが、特に「学術研究会」という20団体程のクラブを統括する組織の本部役員になったことを通して、学園祭や新歓オリエンテーション運営に関われたこと、そして本部長となり、多

くの団体さんや大好きな仲間たちと活動した時間は、大切な思い出です。周りの方々に恵まれ、苦しさがあってもその数倍の楽しさと充実感がありました。

関西大学での学生生活を通して、特に主体性が磨かれ、積極的に行動することによって、学んだこと、出会うことができた人たち、見つけたビジョンは、私の一生の宝です。

しかし、計画なく好き勝手に行動し、失敗してしまうこともあり、責任を持った行動力のある人間になりたいです。そのため、忙しいことを言い訳にせず、全てのことに愛を持って一生懸命にすることが今の抱負です。これまでお世話になった方々、家族、そして関西大学に恩返しをしていく思いで頑張ります。

最後になりましたが、私の学生生活に関わってくださった全ての皆様に心から感謝申し上げます。本当に本当にありがとうございました。

周りの皆様への感謝

堀 華子（シス理工4）
体育会硬式テニス部主務。平成26年度全日本大学対抗テニス王座決定試合・女子団体4位

「名実ともに日本一」、これは私が所属する体育会硬式テニス部の座右の銘です。一人ひとりがチームの一員だと自覚し、行動しています。私は、大学に



入って初めて団体戦というものを経験しました。

テニス部のほとんどが、幼い頃からの経験者で、全国大会に出場してきた部員が多い中、私は大きな戦績を持っていませんでした。

テニスは、関西リーグの上位2チームが全日本王座決定戦に出場することが出来ます。昨年、目標とする日本一を達成することとはできませんでしたが、代表選手をはじめ部員が一丸となつて手に入れた王座への切符でした。

また、私は2年間主務を務めてきました。仕事を始めてみると、事務作業が多くてしんどい事が多くありましたが、練習時間・場所の管理や試合のエントリーなど、部活を運営していくために重要な役割を任せて頂けているのだと自覚をし、向き合うことが出来ました。

テニス部は、個人戦が中心ですが、一人だけでは経験できないことを、部活動を通して経験することが出来ました。職務を全うし、厳しい練習にも耐えることができたのは、チームメイトのお蔭だと、みんなに感謝しています。

最後になりましたが、多くのOB・OGの先輩方や大学関係者の方々、保護者会にはご支援やご声援を頂き、ありがとうございました。これからは社会人として新たな道を進んでいきたいと思っています。

また、4年間成長させて頂いたテニス部に感謝をし、これからはOGの一人として支えていきます。4年間ありがとうございました。

みんなの嬉し涙が 一番嬉しかった！

光山 知里（人4）
体育会バレーボール主務。第61回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会ベスト16、関西大学バレーボールリーグ1部昇格（ともに創部初）

私が入学した時に、バレーボール部は関西リーグで3部でした。そこから、4回生の関西秋季リーグ戦で、入部した時から目標にしてきた1部に昇格し、また、最後の大会の全日本インカレでは、創部初のベスト16という結果を残すことができました。



4回生でキャプテンを務めることになり、そこで人の「あたたかさ」「想いやり」を実感しました。キャプテンになってからの1年間、1部昇格と同時に「あつたかいチーム」という目標、また、応援される、応援したいと思ってもらえるチームになりたいという思いで活動してきました。

バレーボールという競技は、究極のチームプレーです。このチームには、どのチームにも負けないチームワークがあります。本当に学年に関係なく仲がよく、あつたかくて想いやりがいっぱいチームです。私自身、小学校3年生からバレーボールをしています。こんなにチームのことが好きになったのは初めてです。

最後の大会で勝った時には、マネージャー、応援席のチームのみんな、父兄の方々が涙を流

して喜んでくれました。私は、勝ったことももちろんですが、それよりもみんなの嬉し涙が一番嬉しくて、1年間やってきたことは間違ってたかなと思っていました。そして、4年間でこのバレーボール部が大好きになりました。

大学での4年間、バレーボール部で実感した、人の「あたたかさ」「想いやり」、人との繋がりと学んだこと、自分自身成長できたことを、これから社会人という新しいスタートで活かしていきたいと思っています。

最後に、このバレーボール部は私の自慢のチームです。今後とも、体育会バレーボール女子部にこそ支援・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

全力で駆け抜けた4年間

安塚 大(法4)

体育会陸上競技部主将。第92回関西学生陸上競技対抗選手権大会男子2000m優勝



私は陸上競技部に所属し、本当に充実した4年間を過ごすことができました。主将として陸上競技部を任せてもらったことは、私の誇りです。

1番の思い出は、5月の関西インカレの4×1000mリレーで強豪大学を倒し、優勝できたことです。リレーとはその大学の総合力であり、そこでの優勝は、私たちが作ってきた陸上競技部が成長できたことを証明する結果となりました。

良いと思うことは全て取り入れ、選手にとって最高の環境を作ってきました。また、全員で切磋琢磨しながら厳しい冬季練習を乗り越え、シーズンでは、多くの選手が自己ベスト記録を更新することができました。そして、目標としていた関西インカレの4×1000mリレーでの優勝へと繋がりました。

優勝が決まった時、私たちが作ってきたチームがここまで成長できたことが本当に嬉しく、感動したことを今でもはっきりと覚えています。

主将を経験して、私はチームを動かすことの難しさを学びました。きっと、一人では何もできなかつたと思います。幹部をはじめ、同期のみんなが私を助けてくれたおかげで、なんとかやり遂げることができました。

正直、私自身が主将にふさわしくないと感じていたので、早く辞めたいと思ったこともあり

ました。しかし、全日本インカレで主将としての任期が終わると、もっと主将でいたいという気持ちのほうが勝っていました。

3回生の夏から、チームの主将でいられたことを誇りに思い、この経験を糧に、春からは消防官として、今度は私が人を支えられる人間になれるよう努力していきます。この4年間は私にとって本当に大切な財産になりました。ありがとうございました。

現役とOBが思いを一つに 精一杯の努力で達成！

山田 侑希(社4)

体育会剣道部主将。第62回関西学生剣道優勝大会男子優勝(45年ぶり)



私は、体育会剣道部に所属し、最終学年では光栄にも伝統ある剣道部で主将を務めさせて頂きました。主将になり、これまでの先輩方が築き上げてくださった剣道部を私の代で崩すことは出来ないという責任と、最

終学年であり主将という立場から今まで以上の活躍をしなければいけないという思いが強くありました。

しかし、自分自身で背負いすぎたためか、春の試合では思うような成績を残せず、主将としての力不足を痛感させられました。そんな心が折れかけた私を支えてくれたのがOBの先輩方、同級生、後輩でした。成績が残せない苦しい状況の中、現役そしてOBが一つになり秋の試合を迎えることができ、改めて体育会剣道部の繋がりの強さを感じました。

そして、悲願であった全関西大会で45年ぶりに優勝することが出来ました。また、私自身も剣道の最高峰である全日本選手権に出場することが叶いました。この結果は、到底私一人の力では生まれることは出来ず、OBと現役が悔しい思いを一つにし、精一杯の努力をしたことで達成したものであると感じています。

私は、常に周囲の支えによって剣道をするのができ、その剣道で成果を出すためにも大きな支えが必要であるということ、主将を務めさせて頂いた1年間でより強く感じました。私は、苦しく辛い時に共に支え合い努力できたOBの先輩方、同級生、後輩を誇りに思います。そして、幸いにも私は、今後実業団屈指の環境で続けるこ

とができ、体育会剣道部で学ばせて頂いた感謝の心を持ち、努力することの大切さを胸に、今後も精進していきます。また、社会人となり剣道部のOBとし

大学を去るに当たって 定年退職教授のお別れの言葉

未だ「書生」足りえず

文学部教授 高橋 隆博



「関大で励みなさい。恩師に告げられ、とてもでないことになった」と動揺していた。昭和から平成にかわる頃であった。私にとっての大学の先生像といえば、昭和六三年に文化勲章を受章された末永雅雄先生をはじめとし、泰山北斗たる横田健一、有坂隆道、園田香融の先生方にほかならず、その豊かな学殖と炯眼はいうにおよばず、鋭くも寛仁な月旦から、佇まいにいたるまで心服していた。学んだのは忠恕であり、信義であり、「ときには法より人倫が重んじられる」というものであった。身を置いてはみたが、はたし

て、私自身がそうであったように、後輩たちを支え共に努力し、関西大学を支える一人になりたいと思います。

て拭いようもない「場違い感」が襲ってきて、澱のように溜っていた。それは今なお留まっているよつである。

「ごまめの魚交じり」では、己が一分をさばけようもない。呻吟のはて、「書生のごとく」に到り、学生と院生の研究にも向き合い、食べ物のかたよりを知らばゼミ生との食事はむろんのこと、就職や進路、恋愛、はては持病や家庭内の悩みごとまで、相談は数知れず、こちらの方が教えられてばかりだった。

博物館をお預かりした一〇年のあいだに、「簡文館」（建造物の部）と末永先生の渾身のご努力により関西大学の所有するところとなった「本山コレクション」（美術工芸品考古資料の部）が、はからずも平成十八年と二三年に、相ついで国の登録有形文化財に登録され、大学にとつても名誉であるだけでなく、誇るべき文化遺産、そして貴重な学術資料として評価されたので

ある。幸運のめぐり合わせに感謝するほかはない。

有坂先生が昭和三六年に「大阪文化研究所」（代表末永雅雄）を主宰し、研究誌『上方文化』を発刊したように、恩師の先生方は行く末の構想を胸にされていたことを仄聞していたものの、意を汲めどもおよばず、「衣鉢を継いだ」などと言えるはずもない。やはりというべきか、「書生足りえず」ということであろう。恩師のお叱りを懐中にしつつ、いまや千里の陵を辞去しようとするれば、学び舎は春の微光につつまれている。

学歌作詞者・服部嘉香と
竹久夢二

文学部教授 浜本 隆志



かつて年史編集室から依頼されて、「ポール・クロードと関大ゆかりの人びと」（『年史紀要』21号）を書いた。そのなかで服部嘉香と竹久夢二のかかわりをあらたにみつけたので、旧稿の一部であるが、校友のみさまにもこのエピソードを伝言し、大学を去りたいと思う。

学歌作詞者服部は、正岡子規

の親類筋にあたり、本学に赴任する前の早稲田大学の学生時代から、北原白秋や三木露風と「未来社」を作り、多くの詩を創作した。白秋や露風、野口雨情だけでなく、山田耕筰もベルリンから帰国後、大正三年に「未来社」の同人になっていた。かれらは単に詩作のみならず、現代の「流行歌」ともいうべき分野に進出していった。さらに服部の師である島村抱月、早稲田実業にいた竹久夢二の画家としての才能を見抜き、「セノウ楽譜」から出版する楽譜の挿絵の仕事のかれに斡旋した。

とくに、服部嘉香作詞、藤井清水作曲（藤井は最初の本学の学歌作曲者、それが没となり、山田耕筰が代作）、竹久夢二カバール絵というメンバーで、大正五年に『夢見草』が、大正九年には、『雨の泣く日は』が世に出ている。竹久は、生活のために



多くのこの種の仕事をしたが、服部作詞の『夢見草』の挿絵は、夢二らしい特徴がよくあらわれ、ファンの人気があったのか、中古品も売り切れ、現在、入手不可である。

もうひとつの『雨の泣く日は』は、たまたま中古品で入手可能であることがわかった。さつそく年史編集室に相談すると、関大としては資料的価値が高いので、楽譜の購入を決定していた。現在、年史資料展示室に保管されているが、とくに、これは学歌の作詞者の作品であり、挿絵が竹久夢二であるから、学生、校友にとつても資するところ大であるといえよう。

さよなら関西大学

文学部教授 藪田 貫



二〇一五年一月二十一日、半年続けた最終講義が終わった。受講生が、大きな花束を用意してくれていた。感激に浸る間もなく翌週は、博士論文の公聴会―これも今年で最後。さらに定番の入試が二月一日から一週間。缶詰になりながら、来年からはもつ一切、問題を作らな

くてもいいと思うと心が浮き立つ。それが終わると、卒論と修論がドサツと待っている。出張先の仙台に持参するなどしてなんとか読み終え、二日間の試問。さらに成績を付けると業務終了である。どれもこれも今年で最後ののだが、特別の感慨が湧いてこない。一つ終わると家に帰り、「アー終わった」とワイフとビールで乾杯するだけである。それでもおそらく、来年の今頃になると、懐かしく思い出さだるうな、関大文学部日本史文化遺産学の教員であったときのことを……。

一月末、関西大学に出した学位論文をもとに出版したとして一冊の本が届けられてきた。「先生の退職に間に合いました」という一文を付けて。一〇年前に提出され、私が主査を務めた課程博士論文である。嬉しくないはずがない。早速ページをめくり「あとがき」に至った。そこには、大学院後期課程に進学した時、藪田先生に「二人以上の先生を持ち、二つ以上の研究テーマをもつように」言われたとある。そんなことを言ったのだ、若きヤブタ先生は。

翻ってみるに、これまで学生に、どんなことを言ってきたのだらうか？ 何気ない言葉で傷つけた人は、いなかったらうか？ 知らないくせに知ったふりをしたこと、行ってもいないのに行ったふりをしたことはな

かったらうか？ つぎつぎと悔悟の念が湧いてくる。それでも「覆水盆に返らず」ではないが、もはや後の祭りである。

青春の貴重な一瞬を、わたしと共にしたことを覚えておいてくれると嬉しい。そして、関西大学という場で出会えたことに感謝してくれるとなお嬉しい。さよなら関西大学。

「吹奏楽の関大」から
「法科の関大」へ
政策創造学部教授 孝忠 延夫



昭和38（一九六三）年、関西大学応援団吹奏楽部が演奏旅行で松江にやってきた。そのとき、市内の中学校の吹奏楽部にいた私は、そのメンバーとして賛助出演した。当時の関西大学吹奏楽部は、吹奏楽コンクール全日本大会でトップクラスの成績を挙げていた（昭和36年には第2位、40年と44年は第1位など。詳しくは田中義昭氏の『関西大学応援団史―実は九六年だった歴史を辿る』（平成21年）参照）。

それ以降、私の頭には、「吹奏楽の関大」がインプットされ

た。しかし、関西大学とのかかわりが、将来生じるとは思っていなかった。

高校時代になって、大学は法学部へと思いを抱くようになつて調べてみると、大津事件、関西法律学校……と出てきた。「法科の関大」だったんだ！と認識が変わった。しかし、関西大学とここまで長く、深いかかわりが出来るとはやはり思っていなかった。

故櫻田誉教授の指導を受け、大学院で研究者への道を模索し始めたが、スタッフとなつて今日にいたる自分の姿は浮かんではいなかった。助手採用試験の機会を与えて下さったことも含め櫻田教授の「学恩」は大きいし、関大生活の原点でもある。

助手時代は、恵まれた研究環境のなかで自由に研究をやらせていただいた。法学部の専門科目「憲法」をクラス分けして担当するようになった年度途中（一九九〇年度）に、櫻田教授が急逝され、「関大の憲法」の継承・発展という重い課題をあらためて痛感した。

幸いにも、今日、関大の憲法学スタッフは、吉田栄司教授（副学長）を筆頭に、日本の憲法学界をリードする錚々たるメンバーを複数の学部・研究科に擁している。櫻田教授のご学恩に少しは報いることが出来たのではないかと思う。

大学をとりまく環境は大きく

変わり、かつ厳しくなっていくと思われる。研究者としても教育者としても、その「真摯さ」が厳しく問われる時代にあつて、たんなる論評者として、他者」に對してではなく、みずからを律するに厳しい研究者・教育者でありたいという想いは持ち続けてきたつもりではある。が、やはり至らざるころばかりが記憶に残る「関大生活」であつた。

研究室を巣立っていった
学生諸君の活躍に期待
化学生命工学部教授 越智 光一



関西大学で教員として43年、学生時代を含めると49年間お世話になりました。これまでの人生の4分の3近くをこの千里山キャンパスで過ごしたことになります。

私の学生時代、正門は銀杏並木の坂道でした。その坂を上つてくると、左手に食堂や散髪屋さんの入っている木造の建物がありません。この食堂では、独特のルーのかかつた、とんかつが名物でした。近頃、もう一度あの独特の味の「とんかつ」を、当

時の友人たちと一緒に食べてみたいと思つております。

このような叶わぬ夢を懐かしむようになれば、定年退職適齢期なのかもしれません。当たり前のことですが、時間は本人の意思とは無関係に、着実に経過し、今という時間は二度と帰ってこないのだと実感しています。

この49年間にはいろいろのことがありました。学生運動の激しかった時期には、長い鉄パイプを持った学生？の集団が学内を進行しているのを見ました。投石により工学部の窓ガラスのほとんどが割られたこともありましたが、入学試験の実施を妨害するために、学部のトイレがほとんどすべて破壊されたこともありました。

関西大学は、これまで大きな困難に直面しても構成員みんなの努力でそれを克服し、その努力を糧として強くたくましく発展してきたと思っています。この大学の構成員の一人であつたものとして、今後ますますの大学の発展を期待します。

研究活動にも様々な思い出があります。液体窒素を使いたくて有志の教員が集まって、地下室の隅で液体窒素の製造装置を運転したのを懐かしく思い出します。貯蔵タンクの取り替えを忘れて、何度も夜中に大学に来なければならなかったのも、今となつては貴重な思い出です。

走査型電子顕微鏡を初めて購入したときには、その維持費をできるだけ低く抑えるために、鏡筒の分解掃除は当然のこと、故障箇所の探索やボードの取り替えまで電話でメーカーからの指示を受けながら自分で行ったの思い出します。研究費と高価な装置はなかったけれど、研究への意欲と好奇心、向上心だけはあつた時代でした。

研究室にはエアコンもクーラーもありませんでした。夏は、学生も私も汗まみれで一緒に研究室で実験していました。毎日、朝9時前から夜9時頃まで。まとまった休みは盆と正月だけ。学生諸君は弱音を吐くことなく、むしろこちらの背を押すようにして研究に励んでくれました。これまでの研究室の論文や研究発表のほとんどは、研究室に在籍した学生諸君との共同作業のたまものです。これまでの経験に捕らわれない学生諸君の独創的なアイデアが優れた論文になったことも一度ならずありました。

教授になってからは、教授室で仕事することが多くなりましたが、それでも週に一度は学生諸君と研究テーマの進め方についてディスカッションすることを中心に掛けてきました。私の無理な注文に戸惑いながらも、最大限の努力を払って実験を遂行してくれた学生諸君には深く感謝すると同時に、研究室での努力

が卒業後の研究者・技術者としての生活に役立つものであったことを祈っています。

関西大学を退職するに当たり、研究室を巣立つていった260人を超える卒業生諸君が、研究室での努力と経験を土台に、今後さらに研鑽をつまれば、これからの長い人生を社会人としてますます活躍されることを期待して、この49年間の関西大学での生活に対する私の感謝の言葉したいと思います。

「名誉教授」を誇りに 今後研究を続けたい

会計専門職大学院教授

宮本 勝浩



「宮本先生、関西大学に来ませんか？」と、当時専務理事だった森本靖一郎さんから初対面の時に言われた。当時、私は大阪府立大学経済学部勤務として、「阪神優勝の経済効果」をはじめいろいろな経済効果の計算を発表していた頃であった。それから数年して、当時関西大学商学部教授で旧知の柴健次先生から、「会計専門職大学院」を設立するので、来られませんか？」

かとの連絡があつた。これまでいくつかの大学から勧誘をいただいたことはあつたが、あまり心を動かされたことはなかった。

しかし、この柴先生からのお誘いは心が動いた。当時、私は大阪府立大学の副学長で授業や研究時間が全くなく、朝から晩まで会議で、大学行政ばかりさせられていたから、自分の教育や研究の時間に飢えていた。それで、関西大学の新しい大学院の設立に参加させていただくことにした。この時、森本さんは理事長に昇進されていて、大変歓迎していただいた。

新しい教育、研究生生活がスタートした。関西大学での授業と研究は楽しかった。私の大学院のゼミ生の多くは公認会計士、国税官、公務員、企業会計担当者などの新しい世界に巣立つて行った。学生はみんな真面目で明るく、素晴らしい大学院生であつた。また、自分の好きな研究も自由にできた。国際経済学や理論経済学の論文を書き、海外での学会でも報告して、さらに趣味の経済効果の計算も次々発表した。

関西大学の大勢の先生方は気がついていっているが、関西大学ほど自由で、教育・研究環境のいい大学は他にはないと断言できる。前に居た大学では、「あれをしたらいけない。これはダメ」ということが非常に

多くて、教育、研究に多くの制約があつた。

これからは、関西大学からいただいた「関西大学名誉教授」

新卒業生の皆さんに

このたび新しく社会に羽ばたかれた新校友のみなさん！あなたの肩には43万人の校友の温かい目が注がれているのです。一日も早く私たちのスクラムに加わり、ともに新しい道を切り拓き、母校の永劫の発展に寄与していこうではありませんか！

基本カードの提出を 4月10日までに

みなさんにお送りしておりますご案内に同封しておりますハガキ（平成27年3月卒業・校友基本カード）に必要な事項をご記入の上、ご提出下さい。校友会が大学から委託され共同利用する校友の住所管理の基礎資料となります。今後、現住所、勤務先など変更された場合にも、早急にご連絡下さい。

校友データの利用に つきまして

校友データの利用は、(1)機関紙「関大」の送付、(2)大学からの案内、(3)校友会地域支部等からの総会案内、(4)在学生の就職

の称号に誇りを持って、非常勤講師としての授業と研究を続けて行きたいと考えている。関西大学は私の理想の大学である！

活動への支援等に利用させていただきます。

「関西大学校友カード」 の申し込みを

校友会では、「関西大学校友カード」を発行し本年3月現在、既に1万人に及ぶ校友の申し込みを受けております。校友カードはJCB・VISA（三井住友）と提携し、本来のクレジット等の機能を持つほか、校友のみが所持できる会員証の機能を併有、さらに、このカード独自の特典として、提携優待店の協賛を得て特別割引等の特典を設けております。なお、校友のみなさんの特別な負担はございません。

社会人として第一歩を踏み出すみなさん！校友としての友好の絆と、母校への親しみをより一層深めるための絶好の機会です。校友のステータスシンボルである「関西大学校友カード」を申し込んでください。折り返しカード会社より申込書をお送り致します。

2015スプリングフェスティバル 4月5日(日)に千里山キャンパスで

校友会では、毎年4月の第1日曜日を「校友デー」と定め、「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」をスローガンに、千里山キャンパスで「スプリングフェスティバル」を大学の全面的な協力を得て開催している。

母校創立100周年の校友会の記念行事の一環として、昭和61年度に始まり、今や校友と家族、教職員、クラブ等のOBに現役学生も含めたオール関大の心待ちする春のイベントとなっている。記念の30回目を迎える今年は4月5日の第1日曜日に開催する。

開催日時 平成27年4月5日(日) 午前10時～午後3時(時間内に自由に来学ください)

開催場所 関西大学千里山キャンパス(阪急千里線「関大前」駅下車)

(駐車場はありませんので、電車をご利用ください)

今年も「見える学びを街へ」開催

博物館では企画展「大学の扉を開く」開催

行事

★歓迎セレモニー(千里山中
央グラウンド 13時～14時)
……校友会長、理事長、学長
の校友を歓迎する挨拶に続い
て、応援団など現役学生によ
る演舞・演奏が華やかに繰り
広げられます。

★落語公演「さくら寄席」(凜
風館1階ロビー 11時～12
時)……特設ステージを設け、
落語大学の学生による「さく
ら寄席」を特別公演。落大生
たちの明るく楽しい寄席をお
楽しみください。

★見える学びを街へ(総合図

書館前テント(予定) 10時
～15時)……関西大学では、
地域や社会との連携を積極的
に進めているが、4回目の今
回は、環境都市工学部の山本
秀樹教授の研究成果を紹介す
る。

昨年8月、関西大学は、国
家戦略特区(農業特区)とし
て認定された兵庫県養父市と
連携協定を締結した。山本教
授や会計専門職大学院の宗岡
徹教授による同市での研究・
活動実績をもとに締結したも
ので、その一つとして農業再
生事業を展開している。

山本教授らは、2012年

から唐辛子の一種であるハバ
ネロ、ジユロキアの生産を、
但馬地域にて開始し、これら
の農産物を利用した新食品の
開発や、農業再生に不可欠な
種々の高ミネラル肥料の開発
に成功しており、当日は、こ
れらの製品の紹介や販売を計
画している。さらに、将来の
「食と健康」を支え、この問題
に貢献するための研究として、
ヒト血液のネバネバ、サラサ
ラ(粘度)を測定できる新装
置の開発状況についても紹介
する。

★野点・俳句(悠久の庭 10
時～12時半、14時～15時)……
野点会場(無料)を設営し、
茶道部現役学生がお点前で参
加者を歓迎。また、俳句コー

ナーでは、桜を愛でながら句
作ができ、作品はその場で掲
示する。作品の中から、春の俳
句大賞を選び、入選された
方には後日景品を贈呈する。



見学施設

★総合図書館……昭和60年に
開館。大学図書館としてはト
ップクラスの設備と機能を誇
り、研究者と学生の両者を対
象とする蔵書構成とサービス
機能を備え、中央図書館とし
ての機能も有している。

なお、総合図書館では、1
階の右側部分に「ラーニン
グ・コモンズ」を4月6日か
らオープンする。

図書館の豊富な紙の資料を
利用できるだけでなく、無線
LANなどを通じて電子資料
も気軽にアクセスでき、ホウ
イボードや可動式のテーブ

ル・椅子を組み合わせて、学
生がニーズに合わせたグルー
プ学習や学習発表をすること
ができる総合的学習スペース
で、4つのエリアと「コモンズ・
カウンター」からなっている。
スプリングフェスティバル当
日は、オープンを翌日に控え
たこの場所も見学できる。

★博物館(簡文館内)……平
成6年に開館。23年に国の登
録有形文化財(美術工芸品考
古資料の部)に登録された
「本山コレクション」を中心
に、考古、歴史、民族などに
関する資料や美術工芸・自然
資料など約1万5千点を所
蔵。重要文化財指定16点を含
む約700点を常設展示して
いる。

今年は、関西大学創立13
0周年記念平成27年度企画展
「かんさい・大学ミュージアム
連携企画展 大学の扉を開
く」を開催する。

「かんさい・大学ミュージ
アム連携」は、関西大学博物
館が中心となって、関西圏に
ある大学ミュージアム(博物
館・美術館・文学館など)と
共働して、平成25年度に文化
庁の補助金を得て立ち上げた
もので、大阪11館、兵庫3館、
奈良1館の15大学ミュージア
ムが集い、それぞれが所蔵す
る名品を展示するこの企画展



では、各大学の知の財産をいながらにして一望できる。

なお、この企画展は5月17日(日)まで開催。

* 年史資料展示室(簡文館内)……129年におよぶ関西大学の歴史に関する資料を展示する常設展示室と企画展示室がある。

企画展示室では、昨年9月に有終を迎えた天六学舎85年の歴史を振り返る「天六学舎回顧展」(仮称)を開催する。写真パネルと現物資料のほか、天六学舎の模型を展示する予定。

なお、この企画展は9月30日(水)まで開催。開館時間は

午前10時～午後4時。日・祝日・大学の休日は閉館。

* 高松塚古墳壁画再現展示室(簡文館横)……平成20年3月に美術陶板を使って発見当時の写真から高松塚古墳の極彩色の壁画を再現する展示施設として設置された。

* 豊臣期大坂図屏風復元陶板(第1学舎1号館内)……堺の宿院から住吉、天王寺、大坂を経て宇治平等院までを描いており、豊臣最盛期の大坂城を髣髴させる、類例の少ない豊臣時代の大坂を描いた貴重な作品。

食事・弁当・飲物

* 生協本部食堂……凜風館2

総会等開催団体一覧

2月末日現在、スプリングフェスティバルに合わせ総会・懇親会等を開催の団体は次のとおり。

掲載は、団体催名・開催時間・開催場所(連絡先氏名・電話番号)の順。

▼ 尼崎支部家族懇親会 11時・第2学舎C506教室(田中正喜) 090-8480-3319

▼ 伊丹支部懇親会 10時・第1学舎実験学習語学系教室(2)(備藤晋二) 090-3726-9953

▼ 川西支部拡大役員会 11時・第2学舎B306教室(荒木敏雄) 072-758-1787

▼ 吹田支部ガレッジザール 9時・

階のダイニングホールディノア(生協本部食堂)では、和定食・洋定食・麺類・井物をはじめ子供向けメニューも用意しています。また、教室等で

総会・懇親会を開催の場合は、弁当やパーティー用特別料理・飲物の予約もできます。関大生協飲食事業部(電話06-6368-7531)まで直接申し込みを。

問い合わせ・申し込み

2015スプリングフェスティバルに関する問い合わせは、関西大学校友会事務局まで(電話06-6368-0041・FAX06-6380-8476)

総合図書館前テント(渡邊善孝) 06-6387-1414

▼ 堺支部「懇親会」 11時・第2学舎A309教室(鍋島均) 072-221-5269

▼ 豊中支部懇親会 11時・第2学舎B206教室(横田正秀) 090-7111-4564

▼ 北河内地区連合会 11時・第2学舎C302教室(武本正文) 072-877-7202

▼ 住吉支部物販 9時半・総合図書館前テント(小林洋司) 090-3978-0551

▼ 大阪中央支部家族懇親会 11時・第2学舎B203教室(堀義博) 06-6267-3131

▼ 鶴見支部deあそぼよ 10時・第

1学舎実験学習語学系教室(4)(南畑吉是) 090-9993-4408

▼ 西淀川支部催事 9時・総合図書館前テント(西山正明) 090-3034-8095

▼ ええもん関大東淀川 9時・総合図書館前テント(岡田美由記) 090-8822-1771

▼ 平野支部懇親会 11時・第2学舎B205教室(田中義信) 06-6316-0348

▼ 会計人会意見交換会 11時・第2学舎C505教室(燈田進) 06-6766-1255

▼ 司法書士関大懇親会 11時・第1学舎実験学習語学系教室(2)(中村博) 06-6705-5678

▼ 社会保険労務士関大懇親会 10時・第2学舎A502教室(山中正利) 06-4793-0068

▼ 不動産鑑定士クラブ「不動産に関する講演会」 10時半・第1学舎A504教室(玉原栄治) 06-223-2522

▼ JR関大大会総会 11時・第1学舎実験学習語学系教室(3)(小西寿) 090-4287-6341

▼ マスコミ人会総会・懇親会 14時・第2学舎C303教室(大学広報課長・中川雄弘) 06-6368-0075

▼ 年輪関大大会懇親会 10時・第2学舎C203教室(榎本隆之) 072-963-0381

▼ 予科撩爛会総会 11時・第2学舎C201教室(東浦栄一) 06-6921-0874

▼ 第一新生会懇親会 11時・第2学舎C206教室(篠原昭三) 0748-83-1221

▼ 学部27年家族懇親会 11時・第2学舎C205教室(畑下辰典) 06-6773-3871

▼ 二九千里会懇親会 11時・レストラン紫紺(高橋一夫) 0797

1学舎実験学習語学系教室(4)(南畑吉是) 090-9993-4408

▼ 西淀川支部催事 9時・総合図書館前テント(西山正明) 090-3034-8095

▼ ええもん関大東淀川 9時・総合図書館前テント(岡田美由記) 090-8822-1771

▼ 平野支部懇親会 11時・第2学舎B205教室(田中義信) 06-6316-0348

▼ 高同窓会もちつき大会 8時・第2学舎B棟横テント(長しづお) 06-6877-0480

▼ 社会学部同窓会「社会学」といテ 9時半・第2学舎A304教室(横山豊) 090-222881076

▼ 応援団OB長柄会(部)拡大幹事会 11時・第1学舎実験学習語学系教室(2)(中村司法書士事務所・奥田照夫) 06-6705-5678

▼ スポーツマシナクラブ懇親会 10時・第1学舎実験学習語学系教室(2)(小早川勝己) 090-3169-8852

▼ 天六同友会交流・懇親会 11時・第2学舎B301教室(水上義博) 072-635-2147

▼ 女子秀麗会バザー 9時・総合図書館前テント(第2学舎B202教室で幹事会)(坂本恵子) 06-6925-1821

▼ 秀麗寮士会「春の集い」 10時半・第2学舎A305教室(市場康雄) 090-9866-2700

▼ 長砂ゼミ長友会総会・懇親会 10時・レストラン紫紺(高井憲司) 0729-92-0275

▼ 鉄川謝交会総会 10時・第2学舎B303教室(浅田育孝) 090-2350-2018

▼ 機友会懇親会 11時・当日第4学舎前に掲示(長谷川洋司) 090-3652-2884

▼ 千里山建築会懇親会 14時・第4学舎建築学科第1会議室(伊藤淳志) 06-6368-0785

▼ 関西大学金曜会 10時半・第2学舎C502教室(赤松克彦) 06-6995-4665

▼ 雄弁会OB会懇親会 10時半・第2学舎C207教室(石割信雄) 072-775-3020

▼ 陸上ホッケー部OB・OG会総会

1学舎実験学習語学系教室(4)(南畑吉是) 090-9993-4408

11時・第2学舎C301教室(米田芳司「0745」23「4532」)
▼ゴルフ部OB・OG会学年委員会 11時・第2学舎A308教室(近藤康雄「090」5897「4595」)
▼レスリング部OB・OG会懇親会 11時・第2学舎C507教室(比与森正志「090」3842「5033」)
▼自動車部OB・OG会親睦会 11時・第2学舎B302教室(種橋潤「090」5064「7722」)
▼千里山法律学会懇親会 9時・第2学舎C401教室(榎木菜穂「080」3791「9063」)
▼書道部OB・OG会総会 正午・第2学舎A503教室(真砂淳司「072」298「2106」)
▼速記部OB会総会・現役交流会 10時・第2学舎A307教室(坪井恭一「078」302「5699」)
▼ESSOBファミリー会 11時・第1学舎A201教室(梶田一雄「072」774「3848」)
▼奇術研究部OB会総会・現役部員との交流会 10時・第2学舎A302教室(温井康之「090」4980「1276」)
▼経済研究部OB会総会 10時・第2学舎B305教室(浅野政則「072」56「2775」)
▼証志会懇話会 11時・第2学舎C501教室(重田守康「06」6401「5246」)
▼交響楽団OB・OG会総会・親睦会 10時・第2学舎A303教室(谷口眞人「0743」78「0743」)
▼白鷺会OB会総会・懇親会 正午・第1学舎A401教室(道前博「06」6927「0908」)
▼混声合唱団ひびきOBOG会と現役部員との交流会 10時・第1学舎千里ホールA(吉川勲「077



平成27年校友会新年互礼会が、1月15日午後6時から大阪

創立130周年に校友の総力結集を 校友会新年互礼会に270余人集う

新阪急ホテルで開催された。池内啓三理事長、楠見晴重学長をはじめ大学関係者、

校友の首長、議員、地域支部や職域会の代表など270余人が集い、来年の創立130周年に向けて母校のますますの充実・発展を祈念し、元氣な校友会として創立130周年記念事業の成功に校友の総力の結集と活動の促進を誓い、お互いに懇親を深めあった。

総務部の草川大造副部長と太平信恵部員が司会を務め、開会の言葉を北嶋弘一副会長が述べた。応援団第93代団長・小山圭太君のり

4「41」7159」)
▼邦楽部OB・OG会芦声会春の集い 14時・第2学舎C402教室(中村昇「090」7921「6188」)
▼ギター部OB会総会・懇親会 10時・第2学舎A301教室(小林千晃「06」6965「5392」)
▼ユースホテルクラブOB・OG総会 11時・第1学舎実験学習語学系教室1(市山二郎「072」848「1932」)
▼風土研究会OB会総会 11時・第2学舎B204教室(阪上敏郎「090」1591「4823」)
▼自動車工学研究会OB会懇親会 正午・第2学舎A310教室(黒田高之「090」3920「2587」)
▼体育会本部・関入部・応援団平成12年卒同窓会 11時・第2学舎C204教室(川口慎一「072」4「87」8657」)



ードで学歌を斉唱した後、寺内俊太郎校友会会長が挨拶。

寺内会長は「関西大学129年のスタートとなる年の初めに、池内理事長、楠見学長はじめ大学の先生方をお招きして新年互礼会を開催できることを嬉しく思う。また、各支部や関係諸団体の代表、首長や議員など校友会を代表するオールメンバーが集まり、新年のすばらしい会となった。感謝申し上げるとともに皆さんと共にあるという喜びをひしひしと感じている。

母校を卒業し、社会の各界各層で活躍いただいている校友の皆さんを一つに纏めるのが校友会である。母校関西大学は来年創立130周年の大きな佳節を迎える。それに向けて母校愛に燃えた43万校友の総力を結集していきたい。また、いろんな皆さんの知恵を拝借して130周年に相応しい記念行事を、法

人・教学の先生方と共に迎えること、これが今、我々が一番取り組まなければならないことである。更に、言うまでもなく記念事業を行うためには資金が必要であり、こちらも今まで以上に協力をお願いしたい。

池内理事長、永田常務理事とも来年ということですが、私も未年生まれの年男です。今後とも力一杯頑張って行きますので更なるご支援をお願いしたい」と、決意を述べた。

来賓紹介に続いて、池内理事長は「羊には『群羊を駆つて猛虎を攻む』という言葉があるが、支え合い協力し合えば大きな力を発揮する。そういう団結力が必要だということであります。皆さまをはじめ多くの方々に支え頂きながら、しっかりと法人の業務を行っていききたいと思っている。

この場で、私の決意表明をさせていただくと、先ず来年130周年を迎えるが、5つの記念事業を立ち上げさせていただいた。それに加えて梅田キャンパス事業への取組みを行いたい。この事業で天六キャンパスで培ったリカレント教育、社会人教育に新たに組み込んでいきたい。総額40億円、その半分20億円を募金でお願いしているが、まだまだなので関係各位を回ってしっかりとお願いしていく。



2点目は長期行動計画を立てて業務を実施しているが、あと3年あるのでPDCAサイクルをしっかりと回して完成させたい。3点目はグローバル化への対応で、これは教育機関として避けて通れない。とするならば、関大独自のものを作りだして、この10年間で文科省に選定されたとともに負けない様なオリジナルティある取組みをして行きたい。4点目は大学院問題。専門職大学院で取り組んだが、財政的には目の目を見ていない。これも取り組み直したい。

これら事業の他に、財政の健全化がある。少子高齢化が進むため、先を見通すと学校経営も難しくなるが、しっかりと点検

して取り組みたい。

学校法人は、教職員、学生、生徒、児童、園児の教育の質を上げていくというところしかない。教職員、校友会、教育後援会の支援を頂きながら運営していくのが大事だと思っている」と、校友の協力を依頼した。

楠見学長は「元旦、大阪天満宮にお参りに行った。関西大学が関わった天満宮の地下水の復活、これが見事に成功して、御神水舎というのが、きれいに出来上がっていた。中を拝見すると全てガラスでできている。ガラス工芸の発祥の地が天満というところで、ガラスで作ったこの事だった。昨年の天神祭の時には「天満天神の水」としてペットボトルを少し作られ、関大丸の乗船者にも配られたと思う。それが1リットルの「御神水」としてお参りした人に配られていた。関西大学も非常に大きな貢献をしたなと感じている。この水を生かして大阪の活性化に少しでも役に立てればと見守っているところである。

3年ほど前、校友会の海外支部を、その時には台湾とか上海とかがあったが、もっと多くの地域で作っていただけませんかとお願ひした。現在、どんどん増えており、非常にありがたいと思っている。その中には海外でのインターンシップに協力・

支援を頂いている支部や、海外に行った教授や学生と交流する支部など、輪が広がっている。現在大学の海外協定校は78あるが、これを加速度的に広げていきたいと考えている。併せて今後も海外支部の設立に尽力を頂

きたい。

今後も関西大学を盛り上げるためには、皆さま一人一人の力が大切であり、倍旧の力添えをお願いしたい」と挨拶した。栗原宏武評議員会議長が乾杯の挨拶と発声を行い、懇親会に

移った。応援団吹奏楽部の演奏・演奏が会場を盛り上げ、しばし歓談。逍遙歌を合唱したあと、橋本幸治教育後援会会長が大阪締めを行い、田中義昭副会長の閉会の言葉で盛会裏に閉宴となった。

第31回支部対抗親睦ゴルフ大会 5月18日(月)に天野山CCで開催

支部相互の交流と校友の親睦を図る催しの一つとして、第31回支部対抗親睦ゴルフ大会を、次の通り昨年度に続き天野山カントリークラブ(36ホール)で開催します。新緑さわやかな好季節に、日ごろ鍛えた腕前を存分に発揮していただき、校友会長杯(団体戦)、理事長杯(個人戦)をめざして、楽しくプレーしてください。なお、知り合いの方も誘いのうえ、多くの校友の皆さまの参加をお待ちしています。



戦」上位10位まで入賞。10位単位飛賞あり。

表彰式 競技終了後、クラブハウスのレストランで成績発表、表彰式、懇親会を行います。ぜひ表彰式までご出席ください。

参加費 6000円(ゴルフ場での支払いは各自負担。プレーフィーはキャディ付き税込1万3850円)1ドリンク・昼食付き。但し懇親会での酒類は各自負担。全員に参加賞あり。

申込方法 1支部4人以上(4人に満たない場合は個人戦のみ)、先着250人「定員になり次第締切。最終は4月13日(月)必着。参加申し込みをされた方には、4月下旬頃に実施要項、組合わせ表等をお送りします。

参加ご希望の方は、所属地域支部、氏名、卒業年・学部、住所、電話、生年月日を明記の上、郵送かFAX(06-6380-8476)にて、またはE-mail: honda@jm.kansai-u.ac.jpへ、お早目にお申し込み下さい。

個人での参加も歓迎します。問い合わせ等は、校友会事務局(06-6368-0042)まで。

弁護士法人 あしのは法律事務所 代表社員・弁護士

大仲 士和 氏

(昭48学法)

Tsuchikazu Ohnaka

「弁護士法人あしのは法律事務所」、昨年11月に阪神百貨店の南、大阪マルビルの東隣という梅田の一等地にある梅田スクエアビルディング14階に、関西大学の支援を受けて開所した。同時にオープンした「関西大学梅田サテライト・オフィス」に隣接している。校友はじめ市民や企業からの依頼に、誠心誠意、誠実に対応して、社会に貢献できる事務所を目指すと共に、関西大学法科大学院との様々な連携を通じて、大学にも寄与していきたいという。真新しい事務所に、代表社員・弁護士を務める大仲士和氏(関西大学法科大学院教授)を訪ね、お話を伺った。

関大出身の新弁護士を3年育てて独立へ
地方に支店、将来は全国展開も

— 昨年11月に開設された「あしのは法律事務所」について、お聞かせください。

【大仲】関西大学のご協力とご支援を受けて業務を開始しました。双方が独立した法人として、業務委託契約等を結び、連携協力する関係にあります。

目的の一つは、弁護士の就職支援です。今は司法試験に合格しても、なかなか弁護士になれない状況です。関大の法科大学院で勉強している人の中には、「こんなに一生懸命勉強して司法試験に合格しても、将来、本当に弁護士になれるのかな」という不安を持ちながら勉強している人も多いと思います。そんな心配を取り除き、モチベーションを上げさせ、合格率アップにつなげたいと思っています。

そこで、関西大学の法科大学院を出て司法試験を合格した人で、就職先に困っている人などを毎年3人位ずつ事務所に採用し、3年間きちつと

育て、一人前の弁護士として独立させようと考えています。

最近では、既存の弁護士事務所はなかなか採用してくれませんが、弁護士が余っているのです。我々が試験を受けた頃は、合格者は年間500人位だったんですが、今は約4倍の1900人位。さらに不景気ということで、弁護士に頼む仕事も不足している。就職が難しいのです。

— その一方で弁護士さんが不足している地域もあると聞きますが。

【大仲】その話とつながるのですが、この事務所は法人組織にしました。個人の弁護士事務所ですと、弁護士登録した弁護士会の所在地でしか開設できません。法人組織の弁護士事務所なら、日本各地に支店を出すことができます。

たとえば、「あしのは法律事務所」で働いている弁護士が、出身地に帰って弁護士をしたいと希望した場合、そこに支店をつくって活躍してもらうことができます。いろいろな地域に支店ができれば、ネットワークが充実します。また、関大の校友の方は全国におられますので、お近くの「あし

のは法律事務所」をご利用いただくことができます。将来的には関大卒の弁護士で全国展開したいという夢を持っています。

— まだ設立されて3カ月くらいですが、今はどんなことをされているんでしょうか。

【大仲】今、事務所には弁護士が5人いて、いろいろな事件を担当しています。刑事事件も、民事事件もやっています。

この5人は全て関大出身者です。私と尾島史賢弁護士が代表弁護士ですが、太田洋一弁護士と永榮久仁子弁護士、星野峻三弁護士も関大の法科大学院出身。今後も関大の法科大学院を出ただけを弁護士として採用していきます。

法科大学院の授業や演習に
事務所として様々な手伝い

— 大仲先生は法科大学院の教授で、尾島先生は准教授をされていますね。関大の法科大学院とはどのように連携していくのでしょうか。

【大仲】法科大学院の授業に「リーガルクリニ



おおなか つちがず
大仲 土和氏プロフィール

1973年3月関西大学法学部卒業（昭48学法）
1979年10月司法試験合格 80年4月司法修習生（34期神戸）
82年4月大阪地検検事（検事任官） 95年4月最高裁判所司法研修所教官 04年4月神戸地検刑事部長 05年4月大阪地検総務部長
12月特捜部長 07年7月京都地検次席検事 09年1月大分地検検事正 10年4月岡山地検検事正 11年8月最高検察庁総務部長
12年4月さいたま地検検事正 13年3月退職 4月関西大学法科大学院教授 7月弁護士登録（大阪弁護士会） 14年10月弁護士法人あしのは法律事務所代表社員・弁護士
【著書】「条解刑法第3版」（弘文堂）「犯罪事実記載の実務刑法犯」（実務法規）「犯罪事実記載の実務特別法犯」（実務法規）「シリーズ捜査実務全書13少年法・福祉犯罪」（東京法令）
【座右の銘】一所懸命 【趣味】居合道（4段） ゴルフ、海釣り。

ツク」というのがあります。一言でいうと、「無料法律相談」のことですが、授業ですから当然単位が取れます。

内容は、法科大学院の学生に、弁護士立会いのもと、一般の人から法律相談を受けさせます。もちろん、授業の一環として学生に法律相談をさせてもよいか確認し、承諾を得た人に対して行っています。

そして、法律相談の結果について、学生に「こういう問題点があり、それについてはこう考える」という意見をレポートにまとめて提出させ、弁護士がそれを講評するという授業です。取り上げた案件は相手の希望があれば、引き続き弁護士が対応します。

これまでは中之島センターで実施していましたが、3月に閉鎖になりますので、引き続きこの事務所の会議室で行うことになりました。

― 所属弁護士さんの略歴には、皆さん「関西大学法科大学院アカデミック・アドバイザー」とあ

りますね。

【大仲】アカデミック・アドバイザーというものは、授業以外の演習科目を法科大学院生に教える関大出身の若い弁護士のことです。司法試験に合格するためには実践的な授業も必要なのですが、法科大学院の正課授業では賄いきれないところを、「演習」という形で弁護士に担当してもらっています。

そうした弁護士への依頼もこの事務所で行いますし、13階のキャリアセンターのセミナールームを利用して演習を行ったりもしています。

演習を学校だけでなくセミナールームで行うのは、アクセスが良いためです。また、現役学生だけでなく、法科大学院の修了生も利用するため、都合が良い場合もあると考えています。

― 今後、どのような事務所にしていきたいとお考えですか。

【大仲】このキャパシティとしては、弁護

士は最大15人です。今、5人で仕事をしていますので、毎年3人ずつ採用し、3年実績を積んだら独立してもらい、また新しい人が3人入ってくる。そういう形でぐるぐる回していければと思います。独立した弁護士の支援としては、仕事が安定するまで当事務所の案件を手伝ってもらったり、また先ほども言いましたが、支店を設けるといったことも計画しています。

会社法なんかもそうですが、法律はどんどん変わっていきます。若い弁護士とか、弁護士になつてしばらく経った人でも、なかなか集中して新しい法律などを勉強する機会がない。そこで法科大学院と提携して、この事務所を使って講義などを実施しようと思っています。リカレント教育というのですが、現在、実施に向けて準備中です。

**事務所訪問で「やる気」増幅図る
心理臨床センターなどの連携も**

― こうした取り組みやシステムを、たくさんの人に知ってもらいたいですね。

【大仲】大学と提携している法律事務所ができたということで、法科大学院生が事務所を訪問しています。開設してから40人以上が見学に来ましたが、ものすごく勉強へのモチベーションが上がると言っています。

私は、法学部のゼミも持っていますので、学生たちにも見学させたい。こんな支援や仕組みが分かたら、関大の法科大学院に行きたい！という気持ちも湧きます。それが、結果として関大に大きく貢献することになると思っています。

― そうですね。優秀な学生たちに関大の法科大学院に進んでほしい。優秀な人材の底上げをするのが一番大事ですよ。

【大仲】そうですね。もう一つ、芽を育てる意味もこめて、去年は高槻ミューズキャンパスの関大中等部の2年生全員を関大法科大学院に招

いて、法廷教室で模擬裁判を行いました。今年は尾島弁護士が中等部へ行って、法律家の仕事についての講演をしました。9月には、私と太田、永榮両弁護士が関大北陽中学の3年生を対象に模擬裁判を行う予定です。

こうした機会を得た生徒たちが「将来は法律家になる」と思い、関大から関大法科大学院に来てくれると、優秀な学生が集まり、合格者が増え、関大の名前も上がる。そうした循環を作れたらよいと思っています。

―事務所の隣には、「心理臨床センター」がありますが、連携も考えていますか。

【大仲】心理臨床センターとの連携は、互いに大きなメリットがあります。我々の事務所に來られたお客様の中で、法律問題で精神的な負担を感じておられる人がおられたら、「法律的な部分は私たちが解決します。精神的なサポートはどうぞ隣で」と紹介する。反対にセンターから紹介されたり、という連携を考えています。

校友もぜひ気軽に「ご利用を 関大を意識し事務所名をつける

―関大法科大学院や心理臨床センターとの連携など、硬い話が多いですが、離婚とか、相続とか、個人的な相談はできますか。

【大仲】もちろん、全てOKです。事務所の資料やホームページにも掲載していますが、不動産取引、会社関係、債権の保全、知的財産、税務訴訟とか労働関係、そして、離婚、遺産、交通事故、遺言の作成、刑事事件など、いろんな事件を扱っています。会社の顧問という仕事も、ありがたいですね。

そして、これは声を大にしてお願いしたいのですが、企業だけでなく一般のお客様もそうですが、特に関大校友の皆さんには、ぜひ気軽に利用していただきたいです。

実は、「あしのは法律事務所」という名称も関大を意識してのことです。校章のモチーフが「葦の葉」ですし、逍遙歌には、葦の葉繁れる淀川に……という歌詞があり、関大の校友だったら、「葦の葉」と聞いただけで、ピンとくる。「あ、関大の関係の事務所だな」と分かってもらえるだろうということです。

淀川の葦は、しっかりと根を張っていて大洪水が来ても流れない。水をきれいにするなど環境にもいい、多くの生物が命を育む拠り所にもなっている。ということで、人のためになるような、社会に貢献できる事務所を目指すという思いを込めました。

―それならなおさらのこと、大いに宣伝して、たくさんの方々に利用していただかなくては

【大仲】1月に開催された神戸支部の新年互礼会に初めて参加させていただいたときも、しっかり事務所をアピールさせてもらいました。「校友価格」で対応します、「法律相談は無料です」と言つて（笑）。

皆さんに、この事務所をご利用いただくと、それは結局、いろんな意味で関西大学に還元されるんだということを知ってほしいですね。

―運営していく上で何か留意点とかはありますか。

【大仲】やはり、「関大」という看板とつながっていますので、大学に迷惑はかけられないというのがあります。

「あんな反社会的な事件扱ってるのか」とか「えっ、あの事務所なくなったのか」なんてことに



▲ 応接室(面談室)の一つ(上)と事務執務室

なったら、それこそ目も当てられないでしょう（笑）。

やっぱり、「関大の提携事務所、頑張っているな」と校友の人たちから言ってもらえ、「あしのは法律事務所に相談に行ってみよか」と一般の人に思ってもらえるように頑張りたいですね。

最難関の司法試験に挑戦 検事の「ぶれない仕事」に性分合う

―話を变えて、少し先生の個人的なお話を聞かせていただきたいのですが。いつ頃から司法試験を目指されたのですか？

【大仲】実は、学生時代には、法律家になることは全く考えていませんでした。

学生時代は学園紛争の真っ只中で、授業はほとんどありませんでした。また、生活費は自分で稼がないといけない事情がありましたので、近所の子を集めて塾みたいなことをやっていました。あまり田舎には帰りたくなかったし、その子らの受験が終わるまでは責任を持って……と、卒業後もいろいろなるアルバイトをしながら塾を続けていまし



▲ インタビュアーの三木(右)、西野と一緒に

のとき、その男の人心の糸が繋がったような気がしました。検事の仕事ってとてもシンプルなんです。要するに、事件の「真相は何か」ということだけです。それを解明し、「こういうことがあったので、あなたにはこれだけの責任をとってもらいますよ」ということを決めるだけです。単純明快で、全くぶれない仕事です。それが非常に性分に合っているのかなと思います。

た。

でも2年も遊んでいたら、就職もなくなり、年を取るし、これはえらいことになった、何か資格を取らないといけないと思ったのです。そこで、一番難しいと言われている司法試験の勉強をしたら、もし失敗してもほかの資格が取れるだろうと思って始めました。4年ほど死にものぐるいで勉強して、運よく受かりました。

——から始めて4年で結果を出すというのは素晴らしい。優秀だったんですね。それで、先生はどうして検事になろうと思ったんですか。

【大仲】最初は弁護士になろうと思って勉強しました。司法試験に合格して、今は1年ですけど、当時は2年間、裁判官、検事、弁護士の仕事を、実際にインターンみたいに実習します。

最初、弁護修習をしたんですけど、何かちょっと違うな。例えば、土地の境界線が右か左かで何年も争ったり、遺産相続で5年も10年も争っていたり、性に合わないと思いました。その後、検察修習に行ったんですね。その時に

「検事ってこういう仕事しているのか」ということがありました。最初は万引き事件から順次難しい事件をやっていくんですが、あるとき担当検事が「大仲君、逮捕された強制わいせつの否認事件やってみないか」と。

事件というのは、アパートに母親と2人で住んでいた小学校5年生の女の子が、今で言う不登校になって、朝「行つてきまーす」と出て行くのですが、学校には行かずに近くで一人住まいの50代の男の人のところに遊びに行つたのです。先生の家庭訪問から事件が発覚しました。男の人の言い分は、「遊びに来ていたことは間違いないけれど、いたずらなんか一切していない」と。勾留して調べても同じ弁解でした。

そこで、女の子に来てもらつて調書をとつて、帰り際の女の子に聞くと、「いたずらしいときは非常にいいおじさんだった。また会いたい」と。次にその男の人を取り調べたときに、その子の言葉を変え、「女の子の気持ちにどう答えるのですか」と聞くと、突然、わあつと泣き出し、「申し訳ありませんでした」と全てを話してくれました。そのとき、その男の人心の糸が繋がったような気がしました。

た。

赴任地では支部総会にも出席
仕事は「誠心誠意、誠実に」

——先生は、多くの赴任地で校友の集まりに出席されていましたが、何かきっかけがあったんですか。

【大仲】例えば、岡山地検の検事正になった時、マスコミが「関西大学法学部卒業」と取り上げてくれたのですが、それを知った支部役員の方が「今度、関大の支部総会があるので、来ませんか」と連絡してくれました。

それに、関大の卒業生で結構マスコミ関係者が多くいます。大分のときもテレビ大分の取締役と知り合い、今も大分の校友と深い付き合いがあります。岡山でも山陽放送の社長に大変懇意にしていたきました。岡山支部では総会で講演もしましたし、吹田支部でも講演をしました。

——最後に、あしは法律事務所のモットーをお聞かせ下さい。

【大仲】依頼される事件数って、昔も今もそんなに変わらないと思います。その中で、この事務所にどれだけお客さんが来てくれるかというのは、一つ一つの事件にどれだけ誠実に対応して、いかに信頼を得るかということに尽きると思います。人間相手の仕事ですから、やっぱりお互いの信頼関係です。それがきちつとできていれば、その人がまた別のお客さんを連れてきてくれるだろうし、あの事務所いいよということになると思うんです。「誠心誠意、誠実に仕事をしていく」というのが、この事務所のモットーです。これを通して関大に貢献していきたいと思っています。

——よく分りました。本日はお忙しいところを、長時間にわたりありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りしております。

15年度一般入試・センター利用入試終わる 志願者数は1.6%減の8万2941人

2015年度一般入試・センター利用入試は、2月入試が2月1～8日に、3月入試が3月3～4日に千里山キャンパスをはじめ、全国28都市で実施された。

15年度の志願者数は、昨年度より1307人少ない8万2941人(98.4%)となった。

15年度の全国的な受験環境の特徴は、既卒者が大幅に減少していること。これは15年度入試から「数学」「理科」が新課程入試に移行したため、既卒者は昨年の入試で合格した大学に入学したためと考えられる。今年の大学入試センター試験でも、現役生の志願者数は2.7%増加したが、既卒者は11.8%も

減少している。

本学でも、全体では1.6%の減少だが、一般入試は56人増加のほぼ横ばい、センター利用入試が1363人減の93%となった。現役・既卒者別では現役が2.3%増に対し、既卒は13.9%の減となっている。

また、地元指向が言われるようになって久しいが、近畿地区が0.2%減に対し、近畿地区以外は6.1%の減と、遠隔地からの志願者が減る傾向が続いている。

各学部志願者数は、次のとおり(%)は昨年度比率。

法学部6023人(102%) 文学部1万408人(103.3%) 経済学部8386人(99.9%) 商学部8125人(85.6%) 社会学部9639人(97.7%) 政策創造学部4262人(121.3%) 外国語学部3990人(95.2%) 人間健康学部3516人(87.5%) 総合情報学部5526人(88.7%) 社会安全学部3966人(149.3%) システム理工学部8395人(96.1%) 環境都市工学部5637人(108.6%)



化学生命工学部5068人(84.8%)

なお、AO入試やSF入試など多彩な入試を加えた15年度の志願者数は、8万6388人となった。

循環器病研究センターと包括的な連携協定を締結

関西大学は、独立行政法人国立循環器病研究センターと医療や健康づくりにかかわる研究、教育、人材育成、地域連携等について相互の協力を進めるため



包括協定を締結し、12月24日に千里山キャンパスで調印式を行った。

平成30年度に吹田操車場跡地への移転を予定している国立循環器病研究センターと、相互の人的、知的、物的資源の交流と活用を図り、医工連携・産学官連携を基本に、地元吹田市や摂津市の協力を得ながら医療・ヘルスケア産業の発展や健康づくりに関する取り組みを進めていく。

太平洋国立大学と協定 ロシア連邦の大学では初

関西大学は、ロシア連邦の太平洋国立大学との間で協定を締結した。ロシア連邦の大学との



協定は初めて。研究者間交流や学生間交流をはじめ、学術情報ならびに資料の交換、定期刊行物の交換など、両大学における教育・研究を推進することを目的とするもので、今後、両大学のさらなる交流を図っていく。

ポリ乳酸繊維と炭素繊維を用いた 世界初の圧電ファブリックを開発

システム理工学部の田實佳郎教授と帝人(株)が、世界で初めてポリ乳酸繊維と炭素繊維を用いた圧電ファブリックを開発した。

圧電体とは、圧力を加えると電気エネルギーを発生し、電気エネルギーを加えると伸縮する特性を持つ物質の総称。関西大学と帝人は、2012年にポリ乳酸とポリ乳酸を積層させることで強力な圧電性能を発揮



し、柔軟性や透明性も有する圧

電フィルムを共同開発していた。その技術を応用して開発したのが「圧電ファブリック」というウェアラブルデバイス。ポリ乳酸繊維と炭素繊維を、日本伝統の織物技術を用いて「平織」「綾織」「サテン」の3種類の生地にする事で、「曲げ」「ねじり」「ずり」など三次元方向を感じし、それらの動きをデータ化することができる。

千里山キャンパスで2月12日、圧電ファブリックのレクチャーと実演、サンプル展示が行われ、着用した人間と連動したロボットのデモなどを実演した。

先端科学技術推進機構が50周年シンポジウム開催

先端科学技術推進機構が、1月22日と23日に千里山キャンパスで先端科学技術シンポジウムを開催した。

第19回目の今回のテーマは「先端科学技術推進機構50周年、これからの技術と産学官連携」。

開式では、池内理事長と楠見学長から挨拶があり、機構長の石川正司教授が、「50周年とこれから」を演題に、機構の組織紹介や50年の歴史について説明した。

その後、独立行政法人科学技術振興機構の中村道治理事長の



特別公演「科学技術イノベーションの実現を目指してーコトを興す研究開発ー」を皮切りに、各研究部門に分かれたセッションが開始された。また、ロビーでは、研究ボスターの展示と出展者による説明会が行われた。

2日目は、文部科学省による研究プロジェクトおよび先端科学技術推進機構研究グループによる研究発表が開催され、大学の教員、学生・院生をはじめ、さまざまな大学、団体の研究者が集結し、活発な意見交換が行われた。

「食と技術とIdea」商学部生11チームが競う

12月17日にグランフロント大阪のナレッジシアターで開かれた関西大学の「こんなアイデアどうですか?」食と技術とIdea」に、校友会として参加

した。

この催し物は、化学生命工学部の河原秀久教授がエノキタケより抽出した「接着タンパク質」をテーマに、商学部の学生11チームが様々な食品を試作し、事業化に向けたアイデアを競う催し物で、総合大学の強みを活かす文理融合のプロジェクトだった。

各学生チームが、スイーツやパン、カレー、そば、ヨーグルトアイスクリーム等々の商品を紹介し、それをいかに事業化するか、市場調査、コンセプト、競合分析、ビジネスモデル、採算計画、成功への鍵などを全員で説明し、コメンテーターの先生や会場から質問を受けるという形式で行われた。

その後試食会があり、食べてみた感触は良好で、中には介護食やアレルギー対策にぴったり



だと感じた商品もあった。

プレゼンテーションの終了後、一般参加者による投票があり、チャンピオンは、野菜嫌いをなくすための「トマトのヨーグルトアイスクリーム」を考案したチームが選ばれた。接着タンパク質エキスの特徴を活かし、溶けにくく、なめらかな食感と栄養、安全性を兼ね備えた新しいアイスクリームの提案だった。

大阪市の協力を得たこの取り組みは、関西大学のイノベーションを高めるものであり、更に多くの校友も参加して、情報交換や応援ができればと感じた。なお、当日のパン製作は校友の永尾俊一氏（白ハト食品工業社長）の製品であった。

（組織部 近藤茂憲）

30人の先生が退職

この3月31日付で、30人の先生方が定年退職等で関大を去れることになった。

文学部（9人）川神傳弘教授、坂本武教授、高橋隆博教授、武市修教授、浜本隆志教授、溝畑寛治教授、八亀徳也教授、藪田貴教授、豊田真穂准教授、経済学部（2人）清水崇教授、若森章孝教授、商学部（2人）川上智子教授、三谷真准教授、社会学部（1人）山口誠教授、政策創造学部（3人）亀田

健二教授、孝忠延夫教授、深井麗雄教授、人間健康学部（2人）澤田有希子助教、松阪崇久助教、システム理工学部（4人）飯田幸雄教授、中原住雄准教授、緒方正則専任講師、久保重善専任講師、環境都市工学部（3人）芝田隼次教授、堂垣正博教授、伊与木茂樹准教授、化学生命工学部（3人）上里新一教授、越智光一教授、白岩正教授、会計専門職大学院（1人）宮本勝浩教授。

積極的な企画展を開催へ展示室改装の博物館

平成26年に開設20周年を記念して展示室をリニューアルした博物館では、27年度はこれまでに以上に活発に展示会を企画し、大学が保有する優れた資料等の公開を目指します。ぜひ足をお運びください。

現在、開催を予定している企画展は次のとおりです。

春季 かんさい・大学ミュージアムネットワーク連携展「大学の扉を開く」 4月1日（水）～5月17日（日）
夏季 矢原繁長 現代アート展―歴史との邂逅―（仮） 6月13日（土）～7月18日（土）
秋季 博物館実習展 11月8日（日）～14日（金）
冬季 北大阪ミュージアムネット



野球部が創部100周年記念式典挙行

550人が出席し新時代の幕開け祝う

1915（大正4）年に創部された野球部が、このたび100周年を迎え、記念式典が1月24日に大阪新阪急ホテルで挙行された。

当日は550人が出席し、まず、関西大学野球倶楽部（OB会）の木村憲治会長が開会の挨拶をした後、池内啓三理事長、楠見晴重学長及び日本学生野球協会の八田英二会長ら来賓の方に祝辞をいただき、鏡開き、乾杯と進行した。

また、野球部が春季キャンプで、約半世紀にわたってお世話になっている安芸市と山登家旅館に対して感謝状を贈呈し、感謝の意を表した。

懇親会では、現役野球部の紹介、卒業生である阪神タイガースの山口高志コーチ（昭48社）と若田稔投手（平18経）が登場してのトークショー、そして応援リーダー部、バトン・チャリダー部、吹奏楽部の演舞演奏があり、盛会裏のうちに終了



▲矢原繁長氏の作品

て（仮） 4月1日～6月

また、同建物（簡文館）内にある年史資料展示室でも次の展示を企画している。

春～夏季 天六学舎回顧展（仮） 4月1日（水）～9月26日（土）

秋～冬季 野球部100周年記念展（仮） 10月1日（木）～3月31日（木）

（博物館事務局）

となった。

今回の式典は、平成23年から実行委員会を結成して取り組んできた、「100年の軌跡、新時代の幕開け」という創部100周年を記念したスローガンの下、実行委員が地道に会合を繰り返してきたこと、昨年秋季にはまるで100周年に合わせたかのように、現役野球部の19年ぶりのリーグ優勝、42年ぶりの明治神宮大会出場が追い風となつてOBの関心が高まり、今までにはない盛り上がりを見ることのできた。

今後のOB会活動にも明るい兆しが見えた会であった。

（野球倶楽部事務局 木田勝也）

総勢450人で大祝賀会 アメフト部が創部80周年

2月22日、大阪帝国ホテルで体育会アメリカンフットボール部創部80周年記念祝賀会が開催された。

母校から、池内理事長、楠見学長、黒田センター長、田中副センター長をはじめ、法人の幹部、体育会各部代表、千成会、そして30を超える友好大学の皆様を来賓を迎え、総勢450人全員着席での大祝賀会となった。寺内校友会長の乾杯からは、「フットボール部頑張れ！」の大



声援を頂いた。本当にありがとうございます。一層の精進を積み上げてまいりますので、「オール関大」での応援の程、宜しくお願い申し上げます。

（祝賀会実行委員長 長谷部憲司）

みんなの力で輝く淀川 550人が淀川大掃除

淀川河川公園で2月15日、関大生約470人と併設校の生徒約30人、大学関係者約20人、スポーツメーカーのミズノの社員約30人ほかが淀川大掃除ボランティアを実施した。

淀川の清掃活動は、関大生にボランティア活動について関心を持つてもらうため、2007年からボランティアセンター学生スタッフが中心となり毎月実施しているが、2011年度に国土交通省近畿地方整備局淀



川河川事務所から「淀川サポーター」に認定されたことを受け、規模を拡大しミズノとの連携事業として「淀川大掃除」を毎年1回開催している。

4回目を迎えた今年は「淀川大掃除 みんなの力で輝く淀川」をスローガンに、総勢約550人の参加者が集結。寒空の中、河川敷に放置された空き缶・ペットボトルなど約7・5トンのゴミを回収した。また、参加者は活動を通してさまざまな人との交流を深めた。

第46回関大能を開催 中高等部生も賛助出演

12月14日に文化会能楽部が主催する第46回関大能が山本能楽堂（大阪市中央区）で行われた。今年度は部員が少ない中での開催となったが、現役部員の舞



台にかける強い思いをもって運営にあたった。今回についてはOB・OGで組織する瓢箪会（榊井俊司会長）から賛助出演として仕舞・連吟が披露された。また、今年度発足した中・高等部の能楽同好会からも初めて賛助出演として仕舞が披露された。初めて能舞台で務めるとあって緊張した面持ちであったが、初々しく躍動感あふれる仕舞に観客からは惜しみない拍手が送られた。

打ち上げでは、指導にあたっておられる観世流シテ方の山本章弘先生、榊井会長をはじめとしたOB・OGと現役部員が今後の部の課題と展望について熱心に話をされる姿も見られた。また、2次会から顧問の政策創造学部の深井麗雄先生も駆けつけていただき、一年を振り返って、舞台や将来に向けての話に



花を咲かせた。

関西の大学にある能楽部のなかでも、とりわけ本学の能楽部は長い歴史を有しており、伝統を超えて未来を創りあげていくために何をすべきか。第46回関大能は改めて考える大変良い機会となった。

（高等部教諭 宮崎亮太）

**全日本フィギュア選手権
宮原知子が初優勝飾る**

12月25～28日に長野県で開催された第83回全日本フィギュアスケート選手権大会で高等部の宮原知子（2年）が優勝した。シヨートプログラム（SP）64・48点で2位につけた宮原はフリーでは最終滑走で登場。持ち前のスタミナを武器に終盤まで動きが鈍ることなく滑りきり、トップの131・12点をマークして逆転。合計195・60点で全日本選手権初優勝を飾った。

また、宮原は2月9日から15日に韓国・ソウルで開催された

四大陸フィギュアスケート選手権大会では、昨年に続いて銀メダルを獲得した。

宮原は、3月23日から中国・上海で開催される世界フィギュアスケート選手権大会にも出場が決定している。

宮原知子が京都府のスポーツ優秀賞受賞

高等部の宮原知子が、1月26日に京都府庁で山田知事から京都府スポーツ賞の優秀賞を贈られた。

昨年12月の全日本フィギュアスケート選手権大会で初優勝を飾ったことなどが評価されたもの。

**空手道部清水希容
吹田市長賞を受賞**

吹田市役所で12月22日、空手道部の清水希容（文3）に、吹田市市長賞が贈呈された。

吹田市長賞は、吹田市内ゆかりのある学術、文化、芸術、スポーツなどの分野から世界レベルの優秀な功績を挙げた人に贈られる制度で、清水は11月にドイツで開催された第22回世界空手道選手権大会・女子個人形の部で優勝したことにより受賞した。関大関係者では、アイススケート部の高橋大輔、町田樹に続き、3人目。



▲細田采花



▲上野沙耶

**学生氷上フィギュアで
上野が3位、細田4位**

1月7・8日に北海道釧路市で開催された第87回日本学生氷上競技選手権大会のフィギュアスケート競技女子Aクラスで、アイススケート部の上野沙耶（商2）が3位に入賞、細田采花（法2）が4位入賞を果たした。

2人は、1月28日から2月1日に群馬県スポーツセンターアイスアリーナで開催された第70回国民体育大会冬季大会のフィギュア競技成年女子で、細田采花が2位に、上野沙耶が4位に入賞した。

「スポーツ関係の写真は、関大スポーツ編集局」提供）

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険事業部・オフィス事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本 社 豊中市新千里北町2-20-8 TEL0120-50-5421 / 関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内

130 KANSAI UNIVERSITY

- 株式会社電通関西支社
- 株式会社大都
- 株式会社フロムページ
- 弁護士法人
- あしのは法律事務所
- 株式会社読売新聞大阪本社
- 二〇万円
- 日本電子工業株式会社
- 協栄ビル管理株式会社
- 一〇万円
- 亜細亜印刷株式会社
- 株式会社廣済堂
- 三和パッキング工業株式会社
- 株式会社大広
- 中央ユーコム株式会社
- 株式会社とつこう・あい
- 株式会社フジキン
- 七万円
- 株式会社朝日広告社 関西支社
- 五万円
- 社会医療法人愛仁会
- 株式会社オーミヤ
- 有限会社進々堂書店
- 瀧本株式会社
- 三万円
- 株式会社合通
- 株式会社
- 日刊スポーツ新聞西日本
- 二万円
- 福岡食品株式会社
- 一万円
- 株式会社北陸サーマル

【本部関係】

第104回定時代議員会 3月28日(土) 13:00 100周年記念会館
2015スプリングフェスティバル 4月5日(日) 10:00 千里山キャンパス
第31回支部対抗親睦ゴルフ大会 5月18日(月) 7:00 天野山カントリークラブ
第105回定時代議員会 6月13日(土) 13:00 100周年記念会館
平成27年度全国組織代表者会議 7月4日(土) 13:00 100周年記念会館
天神祭船渡御奉拝船「関大丸」就航 7月25日(土) 17:00 大川・飛翔橋乗船場
関西大学フェスティバルin九州 9月27日(日) 12:00 福岡市・エルガーホール他
平成27年度校友総会 10月18日(日) 12:30 BIGホール100

【地域支部】

住吉支部 関大130周年記念第1回バスツアー 4月25日(土)~26日(日) 愛媛県(小林洋司=06-6733-9063)
泉州連合会第1回総会 5月24日(日) 11:00 ホテルレイクアルスター泉大津(西出弘秋=072-428-3576)
大阪狭山支部総会 5月30日(土) 12:15 校友・父母会館・校友会会議室(花崎光輝=072-366-6120)
松原支部総会 5月31日(日) 11:30 ふるさとびあプラザ(西田孝司=072-336-1600)
北支部総会 6月19日(金) 18:30 ガーデンシィクラブ大阪(市田利夫司法書士事務所=06-6375-1336)
神戸支部総会・懇親会 6月19日(金) 18:30 生田神社会館(10,000円。東光商会=FAX078-453-2171、kandaikobe@gmail.com)
城東支部総会 6月20日(土) 17:30 大阪キャッスルホテル・錦城閣(近藤正昭=06-6935-5545)
堺支部総会 6月27日(土) 16:00 ホテル・アゴーラリージェンシー堺(鍋島均=072-221-5269)
大阪中央支部総会 6月27日(土) 18:00 シティプラザ大阪(北野商店・北野克己=06-6253-0861)
鶴見・都島支部合同総会 7月11日(土) 18:00 大阪キャッスルホテル(鶴見・みつばさ保育園気付迫匠=06-6961-7363、都島・香西安勝=06-6922-4862)
淡路支部総会 7月12日(日) 11:00 Time after time(音田誠二=0799-62-0055)
富山県支部総会 7月12日(日) 12:30 富山電気ビル

(高橋正=076-475-5726)

東淀川支部総会 7月12日(日) 17:00 ホテルコンソルト新大阪(田中正紀=06-6328-4162)
池田支部総会 7月12日(日) 18:00 池田市民文化会館コンペンションホール(井上章=072-753-5645)
香川支部総会 7月25日(土) 16:00 JRホテルクレメント高松(後藤設備工業・伊藤雅也=078-881-3116)
徳島支部総会 8月1日(土) 16:00 そば蔵(社団法人徳島県法人会連合会気付・山田 仁=088-625-5534)
茨木支部総会 8月6日(木) 18:30 ホテル阪急エキスポパーク(別處了=072-634-6613)
熊本県支部創立60周年記念総会 8月8日(土) 16:00 ホテル日航熊本(野々口瑞穂=096-384-3223)
台湾OB会総会 8月28日(金) 18:00 台北
岡山支部総会 9月5日(土) 17:00 ホテルグランヴィア岡山(ユアーズコンサルティング=086-250-5592)
吹田支部総会 9月19日(土) 14:00 吹田市文化会館・メシヤター(小川将史=06-4981-5107)
豊中支部総会 9月26日(土) 17:00 千里阪急ホテル(横畠正秀=06-6331-2275)

【職域会ほか団体】

経済人クラブ第1回役員会 5月11日(月) 18:00 関西文化サロン(校友会事務局=06-6368-0041)
科学技術振興会創設50周年記念式典 5月22日(金) 14:00 千里山キャンパス・100周年記念会館(記念式典=14:00 記念講演、企業等による出展ブース 祝賀会=17:00。同会事務局=06-6368-1178)
グリークラブOB総会 5月24日(日) 12:00 千里山キャンパス・校友会会議室(塔筋浩司=090-1024-9066)
葦文会創設50周年記念総会 5月30日(土) 時間未定 シティプラザ大阪(三電社内=06-6452-2210)
経済人クラブ第206回例会 6月15日(月) 18:00 大阪新阪急ホテル(校友会事務局=06-6368-0041)
女子秀麗会総会 6月21日(日) 時間未定 シティプラザ大阪(仁井ひろみ=06-6922-6806)
司法書士関大会合格祝賀会 6月27日(土) 18:00 大阪キャッスルホテル(中村博司法書士事務所=06-6705-5678)
第50回記念スポーツマンクラブ七夕総会 7月7日(火) 18:30 ホテル阪神(小早川勝己=090-3169-8852)
自動車関大会第50回総会 7月15日(水) 18:45 ホテル大阪ベイタワー(大阪トヨペット経理部・宇山幸生=06-6543-5215)

思い出がよみがえる

KUグッズ
NIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生活協同組合 Tel:06-6368-7536 E-mail:ku-shop@kandai.ne.jp

凜風館3F関大グッズコーナーにて販売しております



中国国内の3支部と青島在住校友を訪ねる 母校への協力を感謝し連携強化で意見交換

校友会では、海外支部の設立と活動の充実を重点施策の一つとして取り組んでいる。活動している海外支部の多くは、在住校友の献身的な努力で運営されており、母校の国際インターンシップや教員の教育研究活動などにも積極的に協力いただいている。

今回、校友会として大学への協力を表するとともに、海外支部としての活動について意見交換し、本部との連携を強めるため、11月下旬に中井邦夫事業部長と奥田恵造事務局課長が、中国国内の上海閩大会、広東閩大会、香港千里会の3支部を訪問、青島では支部設立に向けて在住校友と懇談会を行った。また、2月中旬にはタイ国を訪問する機会を得た。併せて報告する。(奥田恵造)

上海閩大会

数々の母校への協力を 本部として謝意を表す

11月19日、日本料理「天の川」で上海閩大会(横田和彦会長)例会が開催された。

校友会としては、平成23年に上海オフィスの開所式に併せて訪問して以来であり、校友会単独としては初の公式訪問である。上海閩大会は、90年代に有志が集まって設立され、94年に支部登録、その間、奇数月の隔月1回の例会で親睦交流をはかるとともに、母校の教育研究活動や国際インターンシップや国際部の活動など、あらゆる方面でこ

支援、ご協力をいただいている。

今回は、横田会長、山本震一幹事はじめ、13人の校友が集結。酒を酌み交わし、交流を深



め合い、母校の近況や懐かしい思い出話、これまでの大学に対するご協力への謝意と活動に対する問題提起、意見交換など充実した時を過ごした。

また、最終日に青島へ行くことをお話しすると、既に2年ほど前に青島支部として数人で活動されているとのこと、すぐさま代表の方をご紹介いただき支部設置に向けて協議する機会を得るというサプライズもあった。

時間が経つにつれ酒量も増え、次第に盛り上がり、最後は学歌、逍遙歌を全員で合唱した。もちろんそれでは終わらず、雰囲気そのままに2次会へ。ともに語らい、ともに歌い、時間を忘れて旧交を温め合った。(山本震一)

yamamotos@shystrading.com)

広東閩大会

初の2桁参加者集い 2次会でも情報交換

第10回広東閩大会(是澤秀樹会長)は、11月20日に来賓として校友会から中井事業部長、奥田課長にご参加頂き、広州三大酒家のひとつ「広州酒家」で開催した。

開会に先立ち校友会から大学に関する資料やグッズを頂戴し、懐かしい母校の写真等を楽しんだ。また今回は、香港千里会から酒井氏、当会初参加の松島、田和両氏も加わり、総勢10人、広東閩大会としては初の2桁参加者での盛大な開催となった。

中井部長、奥田課長からは母校の近況や、今後の発展の方向性など、日常の海外勤務生活では接することの出来ない貴重な話を伺うことが出来た。また、会員からは現地での日常生活や業務についての近況をお話させて頂いた。こちらも日本ではなかなか経験できない悲喜こもごも、かつ奇天烈な内容であった。あつという間に予定の2時間が経過したため、話足りない参加者全員で会場を替えて、更に深い情報交換と親睦を行った。



(深址から参加したM氏は翌朝まで広州の夜を楽しまれたとの事後報告もあった)

中井部長、奥田課長、本当にありがとうございました。次回のお越しを楽しみにしております。(東口和文)

(東口和文 higashiguchi.kazufumi@takenaka.cn)

香港千里会

他の海外支部の活動や 母校現況報告が励みに

11月21日、香港の人気海鮮料理店「金山酒樓」で香港千里会(新井一弘会長)の例会が盛大に開催された。校友会本部から中井事業部長、奥田事務局課長をお招きし、ゲストに岐阜支部(香港千里会OBでもある)桑畑昌彦氏を迎えて、総勢15人が一堂に会した。

新井会長の乾杯の音頭で始ま



つた会は、海老や蝦蛄、マテ貝といった海鮮料理に舌鼓を打ちつつ、初めて出会う会員どうしの歓談も弾んだ。途中、岐阜支部の桑畑氏から挨拶があり、校友会事務局の奥田氏からは、現在の関大生の活躍の様子、海外支部の活動報告などがあり、香港を拠点とする私たちOB・OGの励みとなった。

絶品料理である石班魚（ハタ）の蒸し料理が食卓に並び頃には、ビールも次から次へと注文が留まることを知らない様子で、会も最高潮となった。そして、あつという間の懇親会は、新井会長のウィットに富んだ香港千里会の想い出話の後、記念撮影にて終了。

一般客と席が近いこともあり、学歌や逍遙歌を歌うことはできませんでしたが、その後の2次会で声高らかに合唱したことは言うまでもありません。

（山下謙一）
（幹事 山下謙一）
hksenrikai@gmail.com

青島関大会

「青島関大会」として 定期的活動の推進図る

11月22日、グランドリージェンシーホテルの「フードプラザ」で、青島在住の校友と懇親会を開催した。

今回の中国出張においては

青島での校友会設立を期して青島在住の校友を捜し求め、事前に中井事業部長の計らいで、現地邦人向け情報誌に校友募集の広告を掲載し、数名の校友から連絡を受けていた。また、上海関大会例会では、すでに青島支部として活動しているとの情報を得て、その代表者を紹介した

だき、アポイントを取ることもできた。結果、青島支部の代表の平井利武氏、そして情報誌から連絡を受け、参加可能であった竹中健二氏の2人の校友とお会いすることができた。

全員が初顔合わせであり、緊張もしたが、そこは関大、すぐにも打ち解け、学生時代の懐かしい話や母校の近況、自身の仕事の話にプライベートの話まで、話が尽きない。

竹中氏は海外転勤を希望して



1年ほど留学し、2週間ほど前に青島に転勤したばかり。平井氏は海外各地で何十年にわたり事業をされており、青島には約20年になるといふ。体育会ゴルフ部出身で、これまで校友関係のみならずホッケー部の青島遠征などにもお世話いただいたそう。

青島では数人の校友を確認できており、旧交を深めているが、まだまだ現地には校友もいると思われる。また今回は新たに竹中氏とも会うことができ、今後は「青島関大会」として支部登録をすめ、さらに校友の輪を広げ、定期的な活動を推進していきたい。

青島在住の校友、あるいは青島で仕事をされる校友とお知り合いの方は、校友会事務局まで是非とも情報を寄せていただきたい。

泰国千里会

バンコクオフィス訪問と 泰国千里会懇親会に参加

2月17日、泰国千里会（中村良三会長）の懇親会が開催されるにあたり、本部事務局より奥田事務局課長がバンコクを訪れた。

これに先立ち、この機会にチュラロンコン大学内にある「関西大学バンコクオフィス」を訪問した。同大学で学ぶ学生2人



がコーディネーターとして交代で勤務しており、丁寧に対応をしていた。同大学内には本学のみならず、多くの大学の事務所が設置されており、本学の隣には名古屋大学がオフィスを構えられている。

タイへ出張する教職員のコーディネーターと本学への留学希望の学生への対応などが主な業務であり、自身の勉強の傍ら、平日の9時から17時まで本学の業務に携わってくれている。双方の立場からあらゆる情報交換、意見交換を行い、実りあるオフィス訪問となった。

そして、同日19時からは市内のタイ料理レストラン「バナナハウス」で泰国千里会の懇親会が開催された。

泰国千里会には、現在、会員数も50人を超え、懇親会の開催や千里会ゴルフコンペ、関関戦、関西7大学ゴルフコンペなどで



積極的な親睦交流をはかるとともに、教育研究活動や国際部の活動など、母校の国際化事業にもご支援協力いただいている。今回は、安楽成司幹事はじめ6人の若手校友が参加。交流を深めながら、母校の近況や懐かしい思い出話、これまでの大学に対する協力への謝意と活動に対する問題提起、意見交換など語らい充実した時を過ごした。時間が経つにつれ酒量も増えて

次第に盛り上がり、そして母校の話は尽きることがなく、そのままに2次会へ。熱心な議論を

パリ関大会

7人が集い忘年会開く
若手のホームパーティも

パリ関大会（石井襄代表）では、12月9日にオペラ座界隈のレストラン「善」で忘年会を開催しました。

急な出張による欠席もありましたが、メンバー7人が集い、お鍋を囲んでの歓談となりました。

また他にも、11月15日には「パリ関大OB若手の会」と称して、小さな子供たちと奥様もご招待してのホームパーティを行いました。

（薛善子）

setsu.yoshiko@gmail.com



深め合いながら、時間を忘れて旧交を温め合った。

台湾OB会

忘年会を兼ねた例会
多士済々の30人集う

12月27日に、平成26年を締めくくる台湾OB会（李銘坤会長）第6回例会が、台北市の広東料理潮江酒樓で開催された。12月末ということもあり、忘年会を兼ねての例会で、30人の参加者のうち今回も、初参加ありゲストあり、もちろん毎回頭を合わせる旧知の友ありと多士済々のメンバーが集まった。

李会長が、冒頭の挨拶の中でこの1年の活動が簡単に振り返られたが、この1年は台湾南部の嘉義と高雄で懇親会・例会を皮切りに、台中での開催も含めて6回の例会、留学生フェアの支援、母校で開催された校友会全国組織代表者会議への参加と講演、大阪で開催された留学生歓迎会や忘年会等、あつという間の1年であった。とりわけ8月に開かれた総会には、寺内会長以下、母校の役員の方をゲストにお迎えし、50人以上が集まる盛大な例会であったことは特筆すべき、また記憶に残るものといえる。

今回の第6回例会には、平野



佳彦氏（平6工）、真貝直子氏（平18文）が初参加した。真貝氏は、ご主人の台湾赴任に伴い僅か2週間前の来台であったが、校友会紙「関大」で台湾校友会の連絡先を見つけて、自ら連絡しての本日の参加となった。校友会紙がまさに現地の校友を結びつける一つのエピソードといえるであろう。在台10年を超える平野氏と共に、今後の校友会での活躍が期待される。

内田考宣（平19文）・奈津子ご夫妻は、台湾観光の最中、本日の例会に参加された喜ばしいゲストであった。また、例会の後半には1組の夫婦が会場に駆けつけてきた。昨年、結婚を期に日本へ移住した王宇倫氏（平22M社）・居初香帆里夫妻である。奥様の居初氏は関大の職員

で、ここにも台湾OB会と母校関大を強く結びつける「目に見える」絆が存在しているといえる。

昭和50年代、60年代に関大を卒業したナイスミドルが集う第1テーブル、淑女・美女たちで賑わう第2テーブル、会長、副会長やゲストが座す第3テーブル、とそれぞれ10人ずつの各テーブルでの話も盛り上がり、最後に恒例の校友会旗の下での記念撮影で、平成26年の活動は幕を閉じた。

2015年は、2月27日に台北の儼宴会館で新年会を兼ねた第1回例会が開かれる予定である。

上海関大会

ゼミ研修旅行に協力
臨時例会開催し交歓

上海関大会（横田和彦会長）では、商学部の岡照二准教授のゼミの上海研修旅行に協力、併せて12月6日には臨時例会を開催、双方で29人が集まり、楽しく交流した。

岡先生からは、「この度は、あらゆる面でご協力頂きまして、厚く御礼申し上げます。私はもちろんゼミ生も今回の上海研修では、企業に所属されている方々のこれまでのご経験や上海に関するお話等、これまで実際に生で聞いたことがないお話を

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5

Tel 06(6941)3306 URL: <http://www.obsf.co.jp>





直接聞くことができ、大変勉強になったかと思えます。今回の経験を活かして、ゼミ生には今後もっともっと成長していつてもらいたいです。

また臨時の上海関大会を開催して頂きまして、ありがとうございました。私もゼミ生も大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。現在、ゼミ生に今回の上海研修のレポート課題を与えており、出来上がり次第お送りさせて頂きます。とお礼のメールが届き、幹事としては嬉しい限りです。

会員の皆さんにご報告すると共に、次回は1月15日（水）に新年会も兼ねて開催しますのでまた集まりましょう!!

（山本震一）
yamamotos@shystrading.com

新年会兼ねた定例会開く 12人が時間を忘れて歓談

上海関大会では、1月15日に12人が集まり新年会を兼ねた定例会を開催した。

新しい年を迎え、参加者の皆さんも「今年も頑張ろう」と気合が入っていたのでしようが、気がつけば22時をまわっていたぐらい、楽しくワイワイと過ごすことが出来た。

皆さん、お疲れ様でした！
次回の定例会は、3月11日（奇数月の第2水曜日）ですので、また集まりましょう！
今後とも宜しくお願いします。

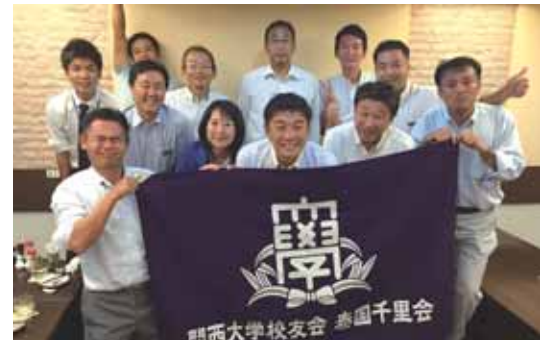
（山本震一）



泰国千里会

新メンバー2人迎え 13人集い新年会開く

1月28日に泰国千里会（中村良三会長）は、新メンバーの高橋聖司さん（63学文）、荒巻大



地さん（平24学商）2人を加えた計13人の参加を得て新年会を開催した。

年明け早々の千里会に2人の初参加者を迎えて、また、昨年に送別会をしたばかりの坂東隆史さん（平15学法）がタイに再赴任するというサプライズもあり、大いに盛り上がった。

次回は、2月17日に校友会本部・奥田氏の訪泰に伴い懇親会、そして3月には千里会のゴルフとこれからも充実した活動をしていきます。

会員数も50人を超えましたが、まだまだタイに埋もれている関大校友の発掘を引き続きよろしく願っています。

（安楽成司）
anraku@ssctch.com

香港千里会

今後の運営等意見交換 男性10人で新年会開く

2月3日、よく利用するチムサーチヨイの居酒屋八海山で、今年初めての香港千里会（新井一弘会長）の集いを新年会として開催した。今回は男性ばかりの10人が参加。むさ苦しい雰囲気になるかと思いきや、ビジネスで近隣諸国を飛び回っている近況や香港マラソン完走など趣味の話で盛り上がり、和気藹々とした雰囲気楽しく過ごした。

また、「どうしたら会員を増やせるかなあ」、「もっとOGを見つけてほしいなあ」など、今後の香港千里会についても意見を出し合った。

そして、香港千里会会旗の前で、新井会長の手振りのリードで道徳歌と学歌を歌い、最後に記念撮影にて終了となった。

（山下謙一 92工）



THINK PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ

東洋紙業高速印刷株式会社

〈本社〉 〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島営業所/九州営業所

北から 南から

《各地支部だより》

篠田校友が志布志の史跡など講話

「学縁」を合い言葉に親しく懇談

鹿児島千里会（桐原琢磨会長）は10月24日、ジェイドガーデンパレス翠園で「校友の集い」を開催した。

黒田勇学生センター長、渡邊泰之副会長はじめ、白木成光福岡千里会会長それに同志社同窓会、立命館校友会の役員の方を来賓として迎え、11人の校友が出席した。

第1部の講話では、篠田紀子校友（41文）「志布志の史跡と詩人藤後左右」という題で、か



つて港町として繁栄し「千軒まち」と呼ばれた歴史について語ってもらった。

第2部の議事では、参加者を増やしたいとの桐原会長の挨拶のあと、事務局時任より事業と会計が報告された。

第3部懇親会の挨拶で、黒田学生センター長は、「ご両親が湧水町の出身と言うことで、鹿児島は第1の故郷ですと述べ、出席者は母校の近況に耳を傾けた。畑勝美次長による乾杯の発声

で懇談に移り、校友のスピーチでは濱田利安氏（47学文）が志布志市に就職赴任中に、志布志城の模型作成に係りましたと、先の講話に符合する話とともに、自分の進んだ関大の道を自信を持って後輩に薦められるという話があった。

「学縁」を合い言葉に親しく懇談のあと、逍遙歌を高らかに歌い、同志社、立命館とエールを交わし、青木副会長の万歳三

唱で幕を閉じた。

（時任博幸・昭50学商）
（時任博幸「0900-4581-7092」）

130周年記念イベント 実施に向け好スタート

1月17日午後、アクロス福岡に九州各支部から支部長、幹事長が集まり、校友会本部の担当役員・事務局にも出席を頂いて、創立130周年記念イベント「関西大学フェスティバル in 九州」について話し合いが行われた。

まず、開催会場を全員で視察の後、イベントの具体的内容について活発な意見や要望が出され、オール関大として取り組む地方初の大イベントへの取り組みがスタートした。

午後6時から、場所を博多東急エクセルホテルに移して、



福岡千里会（白木成光会長）の新年会を開催した。

若手から大先輩に至るまで集い、美酒を酌みかわし、近況を語り合い、励まし合い、同期・先輩後輩の親睦を深めるいい機会となった。併せて、創立130周年記念のプレイベントを初めて地方で迎える九州地区の結束を固めるいい機会となった。

（幹事長・若手会会長

岡部薫 61工金）

（安藤造園土木・白木成光「092-841-4141」）

極寒の中、全道から19人 現役組リタイア組半々か

北海道支部（松本陽一支部長）の新年会は1月22日、札幌市内のホテルで開催され、極寒の中、19人が参加した。

昨年も出席された台北駐日経済文化代表處札幌分處の陳桎宏處長（平12院社）が、今年も出席された。外国人の札幌への観光客は台湾が第1位で、氏の活躍によること大と思われる。

宴の中盤では、出席者全員による順次の自己紹介が行われた。現役組とリタイア組が半々くらいだろうか。学生時代を懐かしむかと思えば、当時唄ったパンカラストイルの歌を口ずさむ者や、腹話術でボランティアをしている一端を演じる者など、楽しいひとときを過ごした。



最後に、ゴルフ部会長の石田一幸氏（55商）より、昨年優勝の美酒を味わった関西7大学OBゴルフ対抗戦は、今年は各校とも打倒関大を目指してくるので苦戦を強いられるが、上位を目指して頑張る旨の力強い宣言があり終宴となった。

（広報担当 大坊健二）
（松本陽一「011-778-6760」）

「吉田松陰を記行する」

永富明郎校友が特別講演

2月15日、東京駅に隣接するサピアタワー9階の関西大学東京センターで埼玉支部（西郡貢支部長）総会が開催された。

北嶋弘一校友会副会長はじめ、東京、神奈川、千葉の各支部代表にも出席いただき総勢36人でのイベントとなった。

第1部総会は、学歌斉唱、西郡支部長の挨拶、北嶋副会長の



祝辞、高木副支部長による会計報告という順序。今回の目玉イベントは、永富明郎校友による「吉田松陰を記行する」の特別講演。吉田松陰の生涯、意外な素顔、行い、そして弟子に残した多大な影響などの逸話を面白く興味深く聞くことができた。

集合写真を撮影し、第2部はお待ちかねの懇親会。ピュッフエスタイルの料理にお酒が入り、校友間に話の花が咲いた。歓談の合間には、ゴルフ会、熊谷支部の活動、初参加の校友の紹介と続いた。ショータイムでは、西川さんのバンドとコーラスグループBUSY B.Sの歌で盛り上がった。そして、恒例のお楽しみ抽選会。10キロのお米を目指して熱いじゃんけん大会と

続いた。(田中利洋・58工)
(西郡貢 04 | 2922 | 5575)

全役員の統投提案を承認 腹話術やくじ引き楽しむ

千葉支部(神田万久支部長・45工) 27年新春総会は、2月7日に北嶋弘一副会長、竹内洋東京センター長並びに東京・神奈川・埼玉各支部の代表を迎え、総勢36人が出席して市川グランドホテルで開催された。

第1部総会は学歌斉唱で幕が開き、神田支部長から挨拶、来賓紹介、1年間の活動報告に続き全役員の統投提案があり満場一致で承認された。

次いで、大平聡子氏(62文)から会計報告があり承認された。同好会活動の報告では、ゴルフ同好会の前川義男幹事(40商)から年2回の支部コンペや年1回の首都圏大会ついて、写真同好会では江口昌成幹事(39工)から、春は上高地、秋は東北を満喫したことが自慢の写真を添えてなされた。

続く第2部は、「しるたにまもる&ゴローちゃん」の腹話術。城谷護氏は木原國夫氏(31商)と同郷、長崎雲仙の親善大使であり、浅草演芸場を拠点に活躍のブ口。海外も含めて3千200回以上の公演実績の持ち主、相方ゴローちゃんとの絶妙の芸



を堪能した。

第3部懇親会の乾杯の発声は山本直樹氏(32経)、初参加者、今年は足立勝氏(平3文)一人だけの自己紹介、最高潮になった所でくじ引きに入った。

喜多良文氏(平6法)と大平氏のコンビによる名司会で、入場時に貰ったくじをしっかりと見つけながら会場はますます賑やかになった。

記念写真撮影後、松岡寛校友(34文)からエールをいただき、逍遙歌を大熱唱、お開きとなった。

2次会は例によって坂本行秀校友(41法)の家庭料理の店「舞堵(まいど)」へ繰り出しとなり、ますます親睦を深めた。

(広報担当 豊田稔・45工)
(神田万久 047 | 354 | 2091)

中尊寺や平泉温泉満喫 写真・旅行を楽しむ会

千葉支部「風景写真と温泉旅行を楽しむ会」では、11月3日から一泊で紅葉の東北を巡りながら温泉旅行を楽しんだ。

3日8時東京駅集合、参加者8名は「はやぶさ5号」で一路仙台へ、大型レンタカーに乗り込み江口昌成幹事(39工)の運転で蔵美溪を目指す。

蔵美溪駅の里で昼食をとり13時過ぎに到着。溪谷全体が赤や黄色の鮮やかな紅葉に包まれ、息をのむ美しさ、夢中でシャッターをきった。

14時過ぎに中尊寺に到着。表参道から1.5キロの山道を登らされたが、経蔵前の真紅に色づいた紅葉は境内一の景色で救われた。

宿泊の平泉温泉ホテル武蔵坊では、ゆっくり温泉につかった後宴会。美味しい料理と酒を飲み





窓を考える会社

YKK AP株式会社

ビル建材第一事業部 大阪支店

大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141

www.ykkap.co.jp



良縁お世話致します



婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!

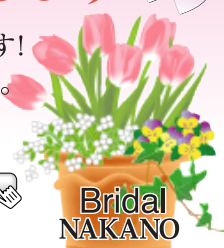
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル
ナカノ

TEL 06-6702-8624

ホームページでも詳しく紹介しています。
ブライダルナカノ 検索

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子
経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談所サポート協会会員



**Bridal
NAKANO**

交わしながら現在の関心ごと談議に花を咲かせ、幸せいっぱいひと時を満喫した。

翌日は、まず毛越寺を訪れた。こも世界遺産で国別史跡、特別名勝に相応しく、広大な境内の庭園は、創建(西暦850年)当時のスケールそのままである。

「これが淨らかな仏の世界を現世に創り出しているのだな」と胸に響くものがあった。次の鳴子峡は、宮城県の名勝。真っ赤に染まった紅葉に覆われたその眺めは絶景、思わずシャッターをきった。

仙台への途中で昼食、青葉城に立ち寄り、伊達62万石の居城跡を見学し、仙台駅へ。参加者全員が「今回も最高に楽しい会であった」と胸に刻み帰路についた。(澤竹正明・36法)

若手で第8回情報交換会「ウナギのあれこれ」聞く

東京支部(堺精一支部長)では、1月23日に初参加者2人を含めた16人が参加して、関西大学東京センターで第8回若手校友情報交換会を開催した。

今回のテーマは「秘密につつまれたウナギのはなし」で、平成25年卒の土山笙子さんからお話を聞いた。土山さんは、土用の丑の日にウナギが食べられるようになった理由、地域によって異なるウナギの食べ方、ウナ



ギの種類やその特徴、ウナギの生態やウナギ漁の現状、ウナギの味などについて詳しい資料を基に分かりやすく話を進められた。

ウナギを美味しく食べられる意外な本当の旬な時期や、いろいろなウナギの食べ比べの結果、ウナギが生では食べられない理由などには、参加者からは驚きの声があがったほか、卵からの養殖が困難ななか、シラスの漁獲量が減少している事実に心配したりと、1時間があっという間に過ぎていった。その後、お楽しみの懇親会を開催し、参加者間の懇親を深めた。

(常任監事 村田樹一)
(村田樹一) 090-4712-7137

明神ヶ岳はぬかるみの山 金時山・富士山に歓声

神奈川支部(畑修支部長)山

歩きの際は、12月7日に第9回「箱根山・明神ヶ岳登山」を開催した。

箱根山には、中央火口丘、新期外輪山、古期外輪山があり、明神ヶ岳(1169m)は古期外輪山の一峰である。

今回8人の校友が金時登山口からスタートした。天気予報係の校友から、「明日正午の山頂の気温はマイナス2度です」という情報が伝わったので、全員が厚着で集合。登り始めてすぐ、道端に霜柱が出現。その後、七色に輝くツララが幾筋も垂れる場所があり、夜間の冷え込み具合はすぐ分かった。しかし、晴天無風下での厚着、矢倉沢峠(880m)に着いた頃には、全員が汗びっしょり。

高度を上げるにつれ視界が開け、後方に金時山が見えだす。更に登ると純白の富士山が金時山の左手に現れる。「わぁー、きれい!」しばし歩みを止め全員がみとれた。

その後、ぬかるみ道になり、氷上をガラスの靴で歩くように滑る。そんな道が明神ヶ岳山頂、更に下山道まで続いた。山頂は、だだっ広く、ぬかるみの絨毯が敷きつめられていた。360度から寒風が吹き込み、寒さというより冷たさを感じた。下山は相模湾に向かって急斜面を下る。指導標識の表示以上



に遠く感じた宮城野への下山道は校友をいらだたせたが、勘太郎の湯で入浴し、ビールで乾杯する頃には全員、笑顔に戻っていた。

(代表世話役 小谷正廣・昭47商)
(畑修) 0467-5410331

早朝9時初大会スタート 張りつめた空気流れる

神奈川支部囲碁の会は、12月25日に第1回囲碁大会を開催した。

当会は、24年12月に月例会をスタートさせたが、会員数が思いのほか伸びず、また初心者者の育成に時間を要したため、囲碁大会の開催が遅れた。

ようやく初心者2人が大会参加レベルに達し、初の囲碁大会の開催につながった。横浜のJR桜木町駅から徒歩5分にある野毛地区センターで



早朝9時に8人が参加して大会がスタート。いつもより張りつめた空気が流れる。

結果、優勝は水元誠司(42商)、準優勝は白神利昭(36商)の両氏となった。表彰式を近く台湾料理店で行い、両氏が囲碁の楽しさ、勝負運が良かったことを大声で語る傍らで、「これから本腰を入れます」と小声で語る校友の姿があった。

(代表世話役 小谷正廣)

忘年会に2人が初参加 関大二木会会場で開催

愛知支部(杉本秋男支部長)忘年会が12月11日、東京第一ホテル錦・ざぶんで開催された。

会場は、校友が毎月第2木曜日に気軽に集う二木会の会場を、より多くの校友に知ってもらうため、ここでの開催となった。

当日は、夫婦での参加3組を含め26人の参加であった。杉本支部長の挨拶の後、2人の初参



加紹介と各々の挨拶があった。
森田前支部長の乾杯の音頭で
宴に入り、校友同士の話題につ

新会長に松谷幸和副知事が就任 挨拶で活力ある運営を決意表明

昨年11月9日、寺内校友会
長のご臨席のもとホテル日航奈
良で開催された奈良県関大倶楽
部（柳谷勝美会長）総会におい
て、これまで10年という長きに
わたって倶楽部をリードいただ
いた元南都経済センター理事長
の柳谷会長の後任として、奈良
県副知事の松谷幸和会長の就任
が了承された。

松谷会長は、就任の挨拶で、
柳谷前会長の長年のご苦勞に深
く感謝の意を表するとともに、
これから南都銀行関大会、奈
良市役所芦の葉会、奈良県庁秀
麗会の職域支部のバックアップ

きない楽しい歓談の場となった。
中には来年から関大二木会にぞ
ひ参加し、その時には校友を何
人か連れて来るのうれしい言
葉をもらい、8月スタートした
同会を上げた塗木組織委員
長、佐々木副委員長の労が報わ
れたひと場面となった。

参加者全員が食事とお酒を太
いに堪能した後、大西慶太郎先
輩（31商）に大変お元氣な中締め
として一本締めを決めていただき
参加者全員で記念写真を撮り散
会となった。（幹事長 西川正）
（杉本会計事務所・杉本秋男）
052-332-0211

をお願いしながら、地域支部の
連携強化等に取り組み、県内の
校友の交流拡大など活力ある倶
楽部の運営に尽力する旨の決意
を表明された。

さて、倶楽部のメイン事業は、
なんとと言っても毎年11月に開催
している総会だ。役員会や地域
支部との打合せを経て、校友の
皆さんには、できるだけ早期に、
この機関紙「関大」等を通じ
て、総会の開催日程や内容等をお
知らせしていきたいと考えて
いる。

また、校友会事務局にお願い
し、次号以降においても、総会

に関する情報以外に、役員会や
地域支部との打合せの内容のほ
か、倶楽部の組織等についても
紹介しますので、関心をもって
ご一読いただければ幸いです。

（幹事長 土井敏多）
（奈良県庁監査事務局気付・石
川則子）0742-22-11
01

千本釈迦堂から八神社へ 歴史街道を歩く会に18人

京都支部（牧村史朗支部長）
の恒例行事「歴史街道を歩く
会」が11月16日、紅葉が山河を
彩る晴天の日に18人が参加して
行われた。

集合場所の上七軒バス停前を
出発。まず大根炊きで有名な千
本釈迦堂に到着。本堂で住職の
細やかで丁寧な説明があった。
800年前に建立され心仁、
文明の戦乱にも両陣営の手厚い



保護で消失を免れたとのこと。
京洛最古の建造物として国宝の
指定を受けている。

京都五花街のひとつ上七軒の
情緒あるお茶屋通りから、七五
三で賑わう北野天満宮を通り抜
け、大將軍八神社に到着。八神
社の宮司は3代にわたり当事業
委員の中村通男氏の友人で、今
回いろいろ配慮いただいた。

まずは神社に参拝し、方徳殿
（宝物庫）の中で宮司から全員
お抜いを受けたあと、方徳殿の
国宝等を鑑賞した。

さていよいよ懇親会。神社の
会所で美味しい食事と楽しい会
話のひとつときを過ごした。それ
ぞれ校友の披露する今年の十大
ニュースに爆笑、また感心し、
素晴らしい一日だった。

次回は左京区、真正極楽寺
（真如堂）で開催予定。
（森岡和明・39商）
（壽見芳正）0774-24-8
008

昼間の開催で好評を得る 渡月亭本館で忘年懇親会

12月6日に嵐山の渡月亭本館
で第22回京都支部洛西ブロック
懇親会が催された。長い歴史の
中で第20回から昼間の開催に変
更、好評を得ている。また忘年
会も兼ねており36人の参加があ
った。

須山組織副委員長の司会のも



と、牧村支部長の元氣ハツラツ
なる開会の挨拶、酒田顧問の一
言お言葉に続く乾杯の発声で宴
が始められた。

今回は、初参加者もおられる
中、すぐに例年の様に和んだ会
となり、楽しい時間を過ごす事
が出来た。

また、プロ歌手でもある米沢
校友の「さざんか亭歌謡劇場出
場」の案内もあり、古川渡月亭
会長のお心遣いにも感謝しつつ
盛り上がった。

一ノ瀬副支部長の中締めの挨
拶の後、1階大広間にて集合記
念写真撮影で散会となった。
27年も12月5日（土）に決ま
っている。（島 芳生・51社）

総勢24人が参加し新年会 前途に明るい兆しが色々

揖龍支部（山本雅俊支部長）
は1月12日、昨年6月8日に20



年ぶりに開催した再建総会に続き、新年会を赤とんぼ荘（たつの市）で開催、本部からも田中義昭副会長、池松知永子組織副部長らの出席を頂き、総勢24人が参加した。

当日は挨拶で、少数の旧役員が力と参加者の理解、校友会の強いバックアップで見事に再建がなされたこと、再建総会で世話役が増えたが、さらに数人のそれも女性メンバーに加わって欲しいこと、活動を継続して行くことの大切さなどの話をさせて頂いた。

続いてDVD鑑賞「母校関大青春のキャンパス」では、全員が自分たちが学んだ時代とは比べようもないほどの変貌、躍進ぶりに強い感銘と喜びを感じたようだった。

懇親会では、会食の中で自己紹介も順次進み、楽しい思い出話、面識はあっても同窓生であ

ることをお互いに知らなかった人も結構あり、校友会の方との気兼ねない会話のやり取りなど、時間が足りないほどの盛り上がりだった。

久しぶりで歌った学歌の素晴らしい、奥田課長の元気な口上、肩を組み全員で合唱した道遙歌の懐かしさは、校友会活動の有意義さの凝縮ではないかと思った。

明るい兆しとしては、世話役になってもいいと言って下さった方や、新しい参加者が5人もおられたこと、運営会費の納付依頼に応じた人が新年会案内数の約12%に及んだことなど色々あった。

再建総会を実施したときは少数の世話役で点としての動きしかできなかったが、この新年会では少なくとも線としての動きは出来たと思う。今後は面としての動き（組織）が出来るように努めて行きたい。

なお、当日会費の精算残高1万7446円は130周年記念事業の協賛金として寄贈した。

（山本雅俊・40学法）
（太子保険事務所 079-276-1283）

女子会発足し第1回会合

食事会中心に年2〜3回

宝塚支部では12月6日、支部創立60周年の佳節に支部長が呼



びかけていた宝塚支部女子会が発足し、第1回会合が三田市の「仁木家」で開催された。

この冬一番の寒波襲来の日ながら、11人の会員と招待された2人の男性支部役員が集まった。

今回は、先ず気楽なお食事会ということで、美味しい有機野菜とそば懷石を頂きながら、関大あれこれのおしゃべりを楽しんだ。初めて顔を会わせる人が多いにもかかわらず、自己紹介をしながらの懇談は楽しく、旧知の間柄であるかのようにお話はずみ、関大の繋がりやの素晴らしいさを実感した。

今後の活動としては、食事会を中心に年2、3回の開催を目処に行き予定する。

この輪がさらに広がって行きますよう、OG皆さまのご参加を期待しています。

（女子会幹事 米谷正子・44文）

■支部の地域連携事業報告■

盛會に第5回章水寄席 市民ら79人は終始爆笑

2月11日午後、宝塚商工会議所の会議室で、宝塚支部（門田安正支部長）主催「第5回章水寄席（いすいよせ）」が開催され、近隣支部の校友



のほか、地元商業者、宝塚市民ら79人が参加した。出演者は、地元出身の「浪漫亭不良雲」を含む文化会落語大学OB4人に加え、友情出演として、関西学院大学OBの寄席もあり、会場は終始爆笑の渦だった。

その後、懇親会があり、参加者20人が出演者と交流を図った。門田支部長から「今後

も継続し、宝塚市を盛り上げていこう」と力強い言葉をいただき、お開きとなった。今後、落語を通じて、校友と市民が連携をしていく素晴らしい寄席をしていきたいと思っている。（副支部長 三坂友章）
（塚本寿一 0797-85-1491）

福永直人氏が横綱に 健康麻雀綱取り杯で

12月23日、宝塚支部は、「第3回健康麻雀綱取り杯」を開催した。18回目の開催である。

当日の参加者は、13人であり、福永直人氏（49卒）が横綱に、大関・岩岸昇治、関脇・三坂友章、小結・中村敬三の各氏となった。今回、初めて中野勝氏が役満賞（四暗刻）を獲得した。大会終了後、有志で忘年カラ



オケ大会を開催し、さらに親睦を深めた。

健康マージャンのいいところは、老若男女みんな楽しんで「脳トレ」ができるところにある。麻雀を通じ、交流の輪が広がっている。（副支部長 三坂友章）

早瀬野球部監督が講演 支部総会に総勢100人

2月7日に植田芳光校友会副会長をはじめ、近隣8支部と応援団OB・OG千成会（部）や女子秀麗会から来賓を迎え、応援団を含む現役学生28人、支部校友ら総勢100人で芦屋支部（直林法廣支部長）総会をホテル竹園芦屋で開催した。

直林支部長の挨拶、総会議事終了後、関西大学野球部の早瀬万豊監督の講演を拝聴。昨春の閉関戦で初めて甲子園の土を踏んだ感慨や、浪人をしてまで関西大学に入学したエピソードから、昨秋19年ぶりのリーグ優勝、42年ぶりの明治神宮野球大会出場を果たした野球部の執行方針や組織マネジメントまで、貴重なお話を伺った。

懇親会では、支部中国語クラブによる留学生支援表彰、応援団の演舞、リーグ戦連覇への闘志満々の野球部員紹介、昨年Aリーグ昇格を果たしたラグビー部員の紹介など、盛りだくさんの内容となった。



「牡丹鍋」で和気藹々 リタイア校友の受け皿

支部有志が提供した景品の抽選会も盛り上がり、宴たけなわで出席者一同円陣を組んで逍遙歌を熱唱し、来年の再会を誓った。（中村馨乃信・平10法）
（依藤健史「0797」23—7004）

26年度猪名川支部（大西経二支部長）総会は、1月18日に町内の料理旅館まんかで開催され、本部の渡邊副会長、近隣支部の支部長など来賓14人のご臨席を頂き、支部校友13人が参加した。

総会終了後の会食は、恒例と



なっている「牡丹鍋」で、和気藹々の雰囲気の中、参会者の自己紹介に始まり、ビンゴゲームでの商品獲得競争など極めて楽しいひと時となった。ビンゴゲームの景品は、花や野菜など猪名川町の特性を生かしたものとさせていだいた。

当支部は、規模的には大きくないものの、団塊世代のリタイアといった状況のもと、こうした校友のひとつの受け皿的役割を担うことが出来ればと思っている。今後とも、地道に支部活動を継続し、支部の灯を消すことなく頑張っていきたい。

（幹事長 南隆志）
（南隆志「072」768—0853）

音羽多田別館に32人 親睦深めた支部納会

川西支部（井上能一支部長）



は12月20日、市内の料亭・音羽多田別館で32人が参加して納会を開催した。

当支部には、釣り同好会など5部会があり、年間行事を通して会員間の親睦を図っている。

今年物故された支部校友に黙祷を捧げ、井上支部長は1年を振り返り、世相の移り変わりを通し関西大学人の活躍ぶりなどについて述べた。

宴会に入り、乾杯の音頭をとった田中侃支部顧問からは、我々校友はどこまでも友情を大事にし、窮状にある友は激励してゆこう、との言葉があった。

宴半ばでは、各部会から今年1年の活動報告や明年の予定の発表があった。（白井 宏・45文）
（荒木敏雄「072」758—1787）



新年互礼会に約100人
支部長が若い会員を紹介
神戸支部（織戸新支部長）の新年互礼会が、1月24日に神戸東急インで開催され、100人近い会員が出席した。

曾輪沙耶加さん（平19法、神戸国際協力交流センター）と吉田朱幹事（平22商、神戸国際協力交流センター）の司会で開会。佐藤一郎副支部長（57法、神戸市役所関大倶楽部会長、神戸市産業振興局長）の開会のことは、後、学歌を斉唱。挨拶に立った織戸支部長（49法、神戸新聞社代表取締役専務）は、過去のひじじ年の紹介と神戸支部の事業運営を担う進行、司会、受付、記録担当の若い人たちを一人ひとり紹介し感謝を表した。

藤森泰宏副支部長（55法、兵庫県庁秀麗会会長、兵庫県淡路県民局副局長）の学歌の3番

「正義の奉仕、世に為すと」を引用した挨拶の後、来年の母校創立130周年に向かつての乾杯の発声で開宴した。

「懇親が最大のアトラクション」をテーマに、昭和20年代から平成20年代の校友はテーブルを超えて交流を深めた。初参加者5人が舞台上で自己紹介し、参加者は拍手で歓迎した。

今後の支部事業等の詳細は神戸支部ホームページおよびフェイスブックで、関西大学校友会神戸支部で検索を。

(幹事 尾崎元英・平17院法
兵庫県中小企業団体中央会)
(神戸支部 = kandaikobe@gmail.com FAX = 078-453-2171)

竹内氏が相続税を解説 控除額の引き下げなど

貝塚支部(岡本俊彦支部長)は、12月14日に26年度定時総会並びに組織顕彰受賞祝賀会を開催した。

栄えある組織顕彰受賞は、毎年の総会開催や、小規模ながら地元への地域参加、社会貢献などを愚直に続けてきたわが支部の姿勢が評価されたものと会員一同、今後に向けて自信を深める総会となった。

本部から渡邊副会長らを迎えて大学、校友会の最新の情報を伺い、母校創立130周年記念



事業協力への意欲が高まった。

今年の勉強会は、税理士として活躍している竹内副支部長(43法)に、1月から施行されている「改正相続税」について解説を受け、控除額の引き下げにより相続税が身近に感じられた参加者が多かったのではないかとと思われる。

総会前日の13日、日本武道館で行われた全日本空手道選手権大会で、世界チャンピオン清水希容選手(文3)が、決勝戦で先輩梶川凜美選手に勝利し、2連覇したニュースに、出席されていた空手道部OBの根来功先輩(35経)のご機嫌は真によろしく、今年度から支部役員に就任した空手道部ヘッドコーチ小林隆常任幹事(50社)に、現役部員の活躍ぶりなど詳細な報告を聞かせていただき、参加者は大いに盛り上がった。

(支部長 岡本俊彦・37法)
(岡本俊彦 072-431-3547)

天橋立・伊根へバスツアー 京丹後の魅力を満喫！

守口支部(川部政彦支部長)では、11月30日に第33回のバスツアーを開催した。枚方支部より中山雅博副支部長の特別参加をいただき、27人で守口を出発した。

まずは、天照大神が伊勢にお遷りになるまでお祭りしていた元伊勢籠神社に参拝。続いて傘松公園で、展望の名所・昇竜館から天橋立の眺望を満喫する。昼食後は遊覧船にて伊根湾を周遊し、NHKの朝ドラ「ええにやば」にも登場した伊根舟屋の町並みを眺めながら、群がってくるカモメやトンビに「かつばえびせん」を空中で与えることができた。



次に、地元の老舗向井酒造で試飲を楽しみ、気持ちよくなつたところで浦嶋神社へ。宮司から祭り神・浦嶋子(浦島太郎)伝説の解説を拝聴し、古人の崇敬の念の厚さを感じ取ることができた。(副幹事長 青木哲夫)
(幹事長 北町収 06-6991-0169)

130周年に10万円寄付 拡大役員諮問会と忘年会

八尾支部(中尾達夫支部長)は12月6日、恒例となつた支部役員、幹事、顧問による拡大役員諮問会と忘年会を市内の割烹・新竹で開催した。

垣内晋祐副支部長の司会で進行、中尾支部長から「結成55周年平成26年度総会」から今日までの経過説明があり、創立130周年に際し、八尾支部として10万円の寄付をした旨の報告がされた。

拡大役員会、諮問会の後は忘



制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
〒177-0033
東京営業所 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ http://www.kyouei-d.co.jp

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型著蓑(上用)謹製

和 洋 御 菓 子 司

株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)

厚生大臣賞
日本食品衛生協会賞



平成25年度 **1級建築士** 設計製図試験

全国 No.1
合格者占有率

37都道府県での開講にもかかわらず全国の合格者の
およそ6割が当学院現役受講生!

合格者占有率 **55.8%**
全国合格者4,014名中、当学院現役受講生2,238名

他講習
利用者
当学院
現役
受講生

関西大学 平成25年度 1級建築士合格者

卒業合格者45名中、31名が
当学院の講座を利用して合格されました!

当学院利用率 **68.9%**

※卒業学校合格者数は、試験元である(公財)建築技術教育普及センターの発表によるもので、平成25年12月19日現在 >

平成25年度 **2級建築士** 設計製図試験

当学院教室開講都道府県ストレート合格者のおよそ2人に
1人は当学院の現役受講生!!

当学院教室開講都道府県
学科・製図ストレート
合格者占有率 **45.4%**

当学院教室開講都道府県ストレート合格者2,999名中、1,363名
< 平成25年12月5日現在 >

平成25年度 **宅建** 本試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率 **82.9%**

8割出席・8割宿題提出・公開統一
模試得点率8割以上現役受講生
252名中、合格者209名
< 平成25年12月4日現在 >

1級建築施工管理技術検定

[平成25年度 学科試験]
当学院基準達成 現役受講生
合格率 **95.2%**

8割出席・8割宿題提出現役受講生230名中、合格者219名
< 平成25年7月19日現在 >

[平成24年度 実地試験]
当学院現役受講生 合格者数 **956名**

< 平成25年2月7日 現在 >

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記最寄校まで!

1級・2級 建築士	構造設計1級建築士
1級・2級 建築施工管理技士	宅地建物取引主任者
1級・2級 土木施工管理技士	インテリアコーディネーター

株式会社 総合資格

(一社)日本経済団体連合会会員 監理技術者講習実施機関 登録番号7
(一社)日本建築学会会員 宅建登録講習機関 登録番号 第009号
(一社)全国実業人能力開発団体連合会会員 宅建登録実務講習実施機関 登録番号 第5号

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
一般建築士定期講習 登録番号 第5号 管理建築士講習 登録番号 第2号
経済産業大臣指定講習機関 第一種電気工事士定期講習 登録番号 第4号

総合資格学院

梅田校 TEL.06-4709-8111	神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911	姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211	京都校 TEL.075-253-0481
なんば校 TEL.06-6648-5511	草津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311	奈良校 TEL.0742-30-1511

今すぐウェブ検索 ケータイサイトも充実

総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>

※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りです。

www.shikaku.co.jp

学院長 **岸 隆司 (法48卒)**

年會。和やかに楽しい時を過ごし、出席各位の健康とご多幸を祈念し、万歳三唱でお開きとなった。(支部長 中尾達夫) (中尾達夫 = jn3wdy@k19.sonet.ne.jp)

近隣支部から111人
三味線演奏で盛り上げる

河内近隣支部新年互礼会が、1月18日にシェラトン都ホテルで12支部(生駒・河内長野・富田林・橋本・羽曳野・東大阪・平野・藤井寺・八尾・大阪狭山・柏原・松原)から111人が参加し、大学から池内理事長、寺内校友会長らの出席を得て盛大に開催された。

池内理事長から、創立130周年に向けての今年の具体的な事業の報告とグローバルな競争に向けての決意、並びに関大への一層の支援の呼びかけがあり、寺内会長からは総力を結集し母



校創立130周年事業成功にむけて尚一層の協力への呼びかけがあった。

東郷事務局長の乾杯の音頭で懇談が始まった。壇上では、支部ごとに今年の抱負や活動計画、新たな取組みの報告また出席者の自己紹介などが順次行われ、楽しい互礼会となった。

アトラクションでは、松原出身の「なないろ三味線奏者」として活躍中の虹友美さんによる三味線演奏で盛り上がり、最後に平野支部の大江氏のリードで逍遙歌を熱唱してお開きとなった。(松原支部常任幹事 高辻雅之)

早瀬監督他選手4人招く
主力選手は堺学舎に在籍

堺支部(隅谷哲三支部長)忘年会は12月5日、南海グリルで53人が出席して開催された。今回は、野球部が19年ぶりに関西学生野球連盟秋季リーグに優勝、42年ぶりに明治神宮野球大会に出場したが、主力選手が堺キャンパス・人間健康学部在籍しており、来賓として早瀬監督と主将を含め4人の選手をお招きした。

堺キャンパスに在籍する野球

部の選手は全員、毎年、住吉大社の夏祭りの神輿渡御の担ぎ手として参加していただいていることと、この度のリーグ優勝のお祝いとして、隅谷支部長から早瀬監督に金一封を贈呈した。

早瀬監督の挨拶、選手の紹介があり、宴が始まった。校友の寺脇茂氏の夫人で歌手の寺脇曉子さんから歌の披露があり、ビンゴゲームでは、会員有志からの多数の寄贈品が参加者に当た

り大いに盛り上がった。

(辻尾健一郎)

(鍋島 均 = 072-284-1412)



松浪啓一幹事長の名司会で、開会。初めに、国歌斉唱、学歌斉唱、物故校友・泉佐野支部長山本定夫氏へ黙祷。

吉田会長が挨拶で、国歌及び関西大学学歌3番まで斉唱した事で、身がしまる思いとの感想を述べた。

引き続き記念写真撮影。その後、茶谷輝和泉大津支部長の音頭で乾杯。懇親・交歓の新年会

終始和やかに初の新年会
5月24日に第1回総会

2月15日にホテルリクレアルスター泉大津で、泉州6支部(和泉・泉大津・泉佐野・貝塚・泉南・高石)13人が出席して泉州連合会(吉田常佳会長)第1回新年会が開催された。

松浪啓一幹事長の名司会で、開会。初めに、国歌斉唱、学歌斉唱、物故校友・泉佐野支部長山本定夫氏へ黙祷。

吉田会長が挨拶で、国歌及び関西大学学歌3番まで斉唱した事で、身がしまる思いとの感想を述べた。

引き続き記念写真撮影。その後、茶谷輝和泉大津支部長の音頭で乾杯。懇親・交歓の新年会

歓談モードになった。

なお、校旗・日章旗等、初年度の創立費用の必要経費に対して、吉田会長から寄付の申し出があり、ありがたく拝受した。また、初年度のみ経費として各支部プラスαの会費という事で決定した。(事務局長 西出弘秋) (西出弘秋=archi-kousan.com/)

総勢60人の大新年互礼会 ギター演奏や相撲甚句聞く

住吉支部(小林洋司支部長)は、1月12日、住吉大社参拝&総会・新年互礼会で新春のスタートをきった。毎年変わる可愛い巫女さんの舞とお抜い、胃袋に届かぬくらいいのわずかなお神酒を有り難く頂き、今年も元気で頑張るモチベーションになった。来賓として寺内校友会長、石



井校友会監事、伊藤大阪市内支部連合会副会長、近隣支部より15支部19人がご出席下さり、総勢60人での支部お得意の大新年互礼会となった。来賓代表の方々の要領を得た短い、有り難いご挨拶を頂き、乾パ

イ!
第2部は文化会ギタークラブOBの内田、北山、松本氏の演奏、久保田氏の弾き語り、たらく飲んで食べてのアトラクションは米山氏率いる大阪相撲甚句会のブツと笑える言葉遊びが楽しい相撲甚句...と、何やかんやと楽しい時間が過ぎた。

が、楽しいことはこれだけではございません。今年のメインイベント、130周年記念ツアー『児島惟謙先生の故郷宇和島の文化・味・芸術を訪ねて』を企画した。是非、皆さんもご参加下さい。お問い合わせ・お申



込みは支部長小林洋司まで。

(広報部長 友成純子)
(小林洋司) 090-3978-0551

生根神社で御被い受け 新年互礼会に17人参加

西成支部(吉村健治支部長)新年互礼会は1月18日、玉出の生根神社で出席者16人が御被いを受け、その後、かこの屋での懇親会では17人となった。

学歌斉唱のあと、吉村支部長の挨拶があり、和やかに話が弾んだ。最後に道遙歌で締めくくり、一部有志が支部長を先頭にカラオケ・スナックへ繰り出して、会員諸氏の美声を拝聴して散会となった。(幹事長 花岡宏) (吉村健治) 06-6661-5325



寺内支部顧問ら24人参加 新年会・拡大幹事会開く

東淀川支部(田中正紀支部



長)では1月21日、かこの屋東淀川店で初参加者3人を含む24人が出席して新年会・拡大幹事会を開催した。

田中支部長による開会挨拶、大森良通副支部長の乾杯発声で開宴。しばし歓談後、田中康二幹事長から事業中間報告と、スプリングフェスティバルへの出店、支部総会日程7月12日(日)の2点について協議、賛同を得た。

和気藹々の飲み放題食べ放題の宴も終了の時間となり、豊島光男副支部長の中締め挨拶と2次会会場(飲み処とよみつ、9人参加)の案内を行い散会した。(幹事長 田中康二) (田中康二) 06-6326-978

お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

流体をコントロールするのが仕事です。TBC TABUCHI

タブチは水や空気の配管システムのトータルサプライヤーとして、これからもくらしの“あたりまえ”を影ながら支えています。

株式会社 タブチ 詳しくはホームページへ▶▶ タブチ 検索

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号 TEL 06-6708-0150(代) <http://www.tabuchi.co.jp/>

新体制で支部活性化図る 27年度総会準備等を討議

2月14日、心斎橋のフランス料理店・アミチエ（下村平八氏経営・平3社）で大阪中央支部（北野克己支部長）役員会を開催した。

北野支部長の挨拶の後、石川幹事長から27年度支部役員体制変更が説明され、上田総務部長からは27年度支部総会準備の説明があった。毎年10月に行われていた支部総会を27年度から6月の最終土曜日に変更すること、決算見込み及び予算案などについて討議が行われた。

議事終了後は、本格的なフランス料理のコースとおいしいワインに舌鼓を打ちながら、母校の話題等大いに盛り上がった。

（広報部長 光成和晃）
（北野商店 06-6253-0861）



バイキング形式で新年会 初参加者3人が自己紹介

1月21日、ホテル阪急インターナショナル・ナイト&デイで大阪中央支部若手会新年会が開催され、21人が出席した。

上野和雄財務副部長及び同ホテルに勤務する川手舞子氏両人の司会で進行、今年度は6月27日に行われる中央支部総会等の行事予定が紹介された後、来賓の伊丹英二副支部長の乾杯の音頭で開会された。

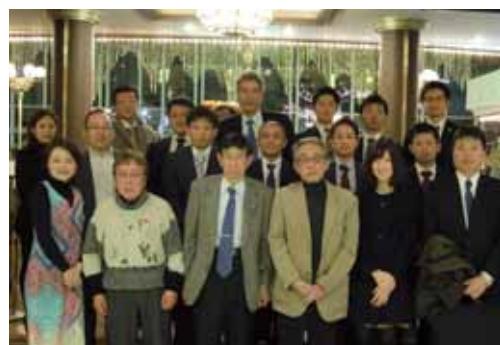
バイキング形式で食事をしながらの歓談の途中には、余興のくじ引きが行われ、当選者には参加者から提供された賞品が当たり、大いに盛り上がった。

現役学生を含めた初参加者3人の自己紹介が行われた後、参

地域支部役員らと大いに交流 じゃんけんゲームで盛り上がり

西宮市役所秀麗会（掛田紀夫会長）では、1月30日に西宮神社会館で来賓を含め43人の出席を得て総会を開催した。

総会では、西宮支部の石原副支部長の指揮による学歌斉唱から始まり、会長の挨拶、校友会西宮支部長でもある中川経夫顧問から祝辞を頂いた後、新入会員が紹介され、その後の議事では全ての議案が承認された。



加者全員で記念撮影を行い、散会した。

当日の写真は左記にて公開中である。

<https://picasaweb.google.com/kwandai/2015121>

（広報部副部長 藤原達史）

引き続き上谷幸彦顧問による

乾杯で懇親会に移り、恒例のじゃんけんゲームでは豪華賞品をかけて、先輩が心理戦を仕掛けてくるなど真剣勝負が繰り広げられ、合同でボウリング大会を開催するなど、積極的に交流している校友会西宮支部の役員の方々をはじめ、来賓の方々、会員一同大いに盛り上がった。

（幹事 北野良太・平2社）

3期目の中村執行部誕生 既存会員集約の事業も

11月8日、大阪キャッスルホテルで第54回司法書士関大会（中村博会長）定時総会並びに懇親会が行われた。

寺内校友会会長をはじめ、七士の若手勉強会「関士会」などから来賓のご列席を頂き、総勢46人の参加を得て開催された。

中村会長は挨拶で、平成16年からの10年間に「合格祝賀会」、「関士会」、「会社法・企業支援実務研究会」の事業を企画したが、これら事業は対象が若手会員を中心にされているので、新執行部には既存会員の知識を集約できる事業を行ってほしいと述べた。

議案審議では、提出議案の全てが満場異議なく原案通り承認された。なお、今回は役員改選があり、中村会長の3期目の執



行部が誕生した。

来賓を代表して寺内校友会長、田中義久社労士関大会長から挨拶を頂いた。

大谷啓二長柄会会長の発声で乾杯し、和やかな懇親の場に移行した。懇親会では、当会参与である中谷豊重大阪司法書士会会長から、会の現状と今後の取り組みについて抱負を述べた。また、本年母校の講師として教壇に立っている中谷参与、金田愛副幹事長が母校での講義の様子について述べた。

アトラクションとして、中村潤会員のキーボード演奏があり、会場は大いに盛り上がった。

なお、26年度試験合格者及び司法書士関大会に入会希望者は下記まで一報下さい。

司法書士関大会事務局（中村司法書士事務所内）電話 06-6770515678 F





AX 〃 06 | 6 7 0 5 | 6 1 1
(副会長 辻井宏之)

合格者は前年比6人増 来年度は30人の大台に

26年度の公認会計士試験合格祝賀会が、12月20日に大阪新阪急ホテルで、関西大学と公認会計士関大会（山田拓幸会長）との共催により開催された。

池内啓三理事長、林宏昭副学長、北嶋弘一校友会副会長等が来賓として出席され、関係教職員や会員など総勢65人が出席して、合格祝賀会に相応しく華やかに開催された。

公認会計士試験の本学合格者は26人であり、うち14人が会計専門職大学院の在籍生あるいは修了生（うち6人が校友会からの支援を受けていた）であった。合格者の年度別推移表に示すと

年度	本学合格者	全国合格者	比率
平26	26 (14)	1,076	2.4%
平25	20 (11)	1,149	1.7%
平24	29 (9)	1,301	2.2%
平23	20 (7)	1,447	1.4%
平22	30 (10)	1,923	1.6%
平21	31 (9)	1,916	1.6%

* 本学合格者の（ ）数は内数で会計専門職大学院からの合格者数である。

* 全国合格者には旧試験制度からの合格者を除いている。

* 平成21年度と当年度を比較すると、全国合格者は概ね半減している。

おり、全国的に合格者が減少傾向にある中で関西大学の合格者は前年に比べて6人増加しており、喜ばしい状況である。

前半の祝賀式典は、清水涼子大学院会計研究科副科長の司会により、三嶋徹也同科科長と山田会長が開会の挨拶を述べ、続いて、池内理事長と林副学長並びに北嶋校友会副会長から祝辞を頂戴し、北嶋副会長の乾杯の発声で、祝宴が開会された。

その後は、司会を林紀美代副会長が引き継ぎ、合格者の紹介と喜びの言葉、校友会と当会から合格者に対する記念品の授与と続いた。参加者全員による記念写真の撮影の後、玉置栄一副会長による中締め挨拶の後、会談は続き、予定時間を超過してお開きとなった。

(会長 山田拓幸)
(玉置栄一公認会計士事務所)
06 | 6 2 2 1 | 3 4 7 8



合格者14人 会員44人参加 職域拡大で更なる活躍を

1月17日、大阪キャッスルホテルで社会保険労務士関大会（田中義久会長）27年新年会兼合格祝賀会が開催され、26年度試験合格者14人と会員44人の計58人が出席した。

まず初めに、阪神・淡路大震災から20年を迎え、犠牲者に対し黙祷を捧げ、続いて学歌を斉唱。田中会長の開会の挨拶では、社労士法が改正され職域が拡大するなか、我々関西大学卒の社労士も更なる活躍を目指していこうと決意を新たにしました。

北嶋弘一校友会副会長に来賓の挨拶を頂き、合格者14人に記念品が贈呈された。

煙勝美校友会事務局次長の乾杯の発声で開宴。それぞれの席で活発に新年の挨拶が交わされ、会場は和やかな雰囲気な

か歓談が尽きなかった。

合格者の自己紹介タイムでは、さすが関大生！皆さんのユーモア溢れる上手なスピーチで会場は笑いの渦に包みこまれていた。合格者を含め、年々平成卒の会員が増え、益々活気溢れる会になってきていると実感できた賑やかな新年会となり、牧江重徳副会長の閉会の挨拶で閉会した。（幹事 高田綾子）
(山中国社会保険労務士事務所・山中正利) 06 | 4 7 9 3 | 0 0 6 8

「天野酒」醸造元を見学 校友の蔵主が懇切に案内

経済人クラブ（栗原照次郎会長）第205回特別例会は、2月7日、来賓に名誉顧問の畑下辰典、森本靖一郎の両氏と、顧問の寺内俊太郎校友会長を迎え、38人が出席して開催された。10時半、西梅田を貸切バスで出発。まず、大阪府下では唯一の重要伝統的建造物群保存地区である富田林市・寺内町を訪ね、情緒ある街並みの風情を楽しみながら散策した。

昼食は、瀧谷不動明王寺前の料亭・門前屋で、自慢の懷石料理をゆっくりと歓談しながら賞味し、午後はメインの酒蔵見学に向かった。

「天野酒」醸造元の西條合資会社では、校友の第10代蔵主・









■ 正規取扱メーカー／ロータスカーズ、ケータハム、モーガン、アルファロメオ、フィアット、シトロエン
 <その他取り扱い車種> メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、
 ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新! で

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司
<http://www.jiron-auto.co.jp>

〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
 ●営業時間：(平日) 9:00~19:00 (土・日・祝) 10:00~19:00 年中無休 ※年末年始は除く

**本社勤務の6人全員出席
関大会発足に向け初会合**
THK(株)には15人ほどの
関大OBがいるようで、関大会
を立ち上げようと2月6日に会
社近くの居酒屋で初の会合をも
った。当日は本社勤務の6人が

(若手会幹事 植松康太)
(校友会事務局) 06-6368
10041

西條陽三氏の懇切な案内で、日
本酒ができるまでの工程を、順
次説明を受けながら見学した。
酒米の自家精米へのこだわりか
ら、発酵タンクの覗き見、大吟
醸や純米などお酒の違い、良い
酒粕の見分け方など、購入時の
ヒントまで詳しく説明を受け、
最後はお楽しみの利き酒を味わ
った。帰る際には、日本酒など
のお土産もご用意頂き、至れり
尽くせりの見学となった。



1991年卒の坂之上隆行さ
んは、金属科から当社に入社し
た第1号だが、学生時代に一時
期、相撲部にいたことがあり、
入部するつもりもなかったのに
身体が大きいと無理に勧誘され、
入部したことなど面白可笑
しく話をしてくれ、場を盛り上
げてくれた。
(大上進)

全員出席してくれた。6人の内
4人が工学部の卒業生で、自己
紹介する中で全員が金属科の卒
業生ということがわかった。
寺内校友会会長も金属科の卒業
生と伺っていたので、皆の大先
輩が校友会長をされていること
を話した。私以外はOB会に出
席するのは初めての経験だった
が、世代が違ふというものの、
大阪の地で、同じ学び舎で青春
時代を過ごした者同士、すぐに
打ち解けて和気藹々の内に時間
が経過した。



13人の同窓で新年懇親会
第1期卒業の東村教授も
社会学部同窓会(横山豊会
長)は、1月25日に新大阪ホテ
ルで新年懇親会を開催した。当
日は、社会学部の第一期卒業生
でもある東村社会学部教授に参
加いただき、教授を含めて13人
の同窓生の参加があった。
まず、学歌を斉唱し開始とな
った。和気藹々の内に会員間の
対話も進み、その後各人が一人
ずつ近況を披露し、よりにぎや
かな場となった。またお楽しみ
抽選会も行なった。
来年の新年懇親会を28年1月
24日(日)と定め、再会を約し
て散会となった。(会長 横山豊)
(横山豊) 075-96110
104

(海外営業統括部・大上進)
soganini@thk.co.jp

ご良縁 成婚率の高さが決め手

100%手づくりのお世話®

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステム
です。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のない
お出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしており
ません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

1 成婚率の高さ

無駄なお見合いを省いた成婚重視の
手づくり100%の行き届いたシステム。

2 質の高い会員層

国公立・有名私立大学が中心。

3 同一アドバイザーによる一貫したお世話

ご入会から成婚まで、同一のアドバイザーが担当。

4 自社会員のみ構成

成婚率の高さを維持とプライバシーの
保護のために他社との提携は一切なし。

5 格式あるお見合いパーティー

帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテル
での会員様だけの集い。

6 安心の均一料金システム

どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚
重視の安心料金システム。

お問い合わせセンター
営業時間 10:00~18:30
定休日 水曜日

よい ふうふ よろしく
0120-4122-46

資料請求 無料

●ドクターズコース
●スタンダードコース
●シニアコース 有

株式会社 **エムロード** Marriage Road®

携帯・WEBからも エムロード 結婚

検索

平成卒の気鋭が大学参加 母校小松教授が記念講演

昨年2月15日に、30年の節目を祝う記念総会を開催した政治学会（吉田之計会長）では、第31回総会を2月21日に大阪肥後橋・徐園で開催した。参加者は新鋭の大学参加で31人に及んだ。

第1部の総会では、本部の渡邊副会長から、母校と校友会の近況を仔細にして簡明に報告頂き、総会議事では、「会計」の補選で八木誼信氏を選任。前年度の会務と会計の報告を承認して閉会した。

第2部の記念講演には、母校政策創造学部から小松陽一先生をお迎えして、「関西家電産業の再生」のテーマで、豊富なレジメを資料にパナソニック・ソニー・三洋の歴史的経過の解説を頂いた。

記念撮影の後、懇親会に移



行。特記すべきは、平成期の新鋭7人が大参加し、テーブルの一角を独占するという快挙がうまれて、大歓迎の宴として展開されたことである。

スピーチも折からの地方選挙を目前に控え、新鋭から古豪と続々マイクを握り、さながらに「政治学会」の面目躍如たる交歓風景を醸した。（藤本道人）

あつという間に学生時代 今年もにぎやかに新年会

毎年大東洋で開催される天六同友会（水上義博会長）新年会は、1月17日に開催され28人が出席した。

冒頭、阪神淡路大震災メモリアル20年目にあたるため全員で黙祷。水上会長の挨拶の後、畑下辰典第3代会長が、乾杯の音頭をとられた。

確実に高齢化が進む我が団体ではあるが、集まればあつとい



う間に学生時代に戻ったような元気な会話になることが、この会の真骨頂となっている。

長年、体育OB・OG会長や代議員会議長を務められた小坂道一大先輩、植田喜一第5代会長などが久しぶりに出席され、貴重な思い出話で時が過ぎた。（幹事長 松永明）
（水上義博 072-635-2147）

顔合わせ話す事が活力に 130周年事業に寄付も

12月17日、恒例となった證志会（岡田誠一会長）の忘年会を大阪駅前第一生命ビル地下の二ユー・トーキョーで開催し、11人の参加だった。

学歌斉唱に続き岡田会長から学校の現況について話して頂いた。

57年卒の澤村氏の発声で乾杯し、宴を始めた。途中で各人が



校友短信



小野市長に蓬萊務氏が4期連続の無投票で5選任期満了に伴う小野市長選挙は1月25日

に告示され、無所属で現職の蓬萊務氏（ほづらい・つとむ 昭44学経）以外に立候補がなく、無投票で5選が決まった。

蓬萊氏は、1999（平11）年に初当選した後、2003（平15）年から4回連続の無投票当選となった68歳。

土庄町副町長に島田明氏が就任 平成26年12月22日付。島田明氏（しまだ・あきら 昭48学文）は、1973（昭48）年土庄町に入庁。企画課長、総務課長、参事などを歴任して退職していた。任期は4年間。65歳。

セキスイハイム不動産・東京セキスイファミエス社長に神吉利幸氏が就任 1月1日付。神吉利幸氏（かみよし・としゆき 昭54高1・58学法）は、1983（昭58）年に積水化学工業入社。2012年セキスイハイム東北社長。13年積水化学工業執行役員。53歳。

セキスイハイム中部社長に魚井良則氏が就任 1月1日付。魚井良則氏（うおい・よしのり 昭56高1・60学法）は、1985（昭60）年に積水化学工業入社。2011年セキスイハイム近畿取締役、14年専務。51歳。

アイエヌジー投信社長に木村弘志氏が就任 1月5日付。木村弘志氏（きむら・ひろし 昭58学商）は、1983（昭58）年に太平洋証券（現三菱UFJモルガン・スタンレー証券）入社。97年ロスカイールド投信投資顧問取締役、99年クレディ・スイス投信常務取締役、08年アライアンス・バーンスタイン執行役員。56歳。

テスコ社長に岡本賢二氏が就任 3月1日付。岡本賢二氏（おかもと・けんじ 昭58学社）は、1990（平2）年に乃村工藝社入社、2012年執行役員。55歳。

帝人フロンティア社長に日光信二氏が就任 4月1日付。日光信二氏（にっこう・しんじ 昭54学商）は、1979（昭54）年帝人商事（現帝人フロンティア）入社。2013年常務取締役、14年専務取締役。15年4月から帝人グループ執行役員製品事業グループ長を兼務。58歳。



この1年間の近況について話して頂いた。学縁で結ばれたOB会で顔を合わせ、話し合う事が活力になる。

母校創立130周年記念に少額だが寄付をすることを決め、再会を約しお開きとなった。

(世話人 重田守康・昭40経)

卒業後40年続く同窓会 50学卒設計研究OB会

私たちは、昭和50年に工学部機械学科を卒業した仲間だ。入学した頃は学生運動がまだ活発で、1回生と4回生の後期試験がレポートになった。

レポート作成や年2回の試験時には集まり、試験勉強をしながら人生論を語り、選択の余地の無いカリキュラムで毎日顔を合わせた。時には授業を抜け出した気の合った仲間が、下間教授の設計研究室に入り、研究に明け暮れた1年を過ごした。

絆を深めた7人が、卒業した



初参加でグロスの部優勝 全国大学OB对抗戦で

全国大学OBゴルフ对抗戦(バーサス会)に關大OBチームが初参戦した。全国の大学OB23チーム110人の選手が、出身母校の名譽をかけてゴルフの実力を競う大会で、我が關大OBチームは東京・神奈川・埼玉・千葉の首都圏各支部の代表選手6人が出場した。

第31回大会は、昨年9月25日埼玉県鳩山CCで行われ、關大OBチームは初参加にもかかわらず



年の末頃に誰かの声掛けから、年末の12月30日に同窓会をする事とした。

同窓会を始めて3年目頃から、場所は大阪駅前第三ビル最上階の割烹・河久となった。今では、使用する部屋も仲居さん毛料理も一緒となり、仲間も9人に増え1年の鬱憤晴らしや思

い出話に耽っている。

その後場所を変え、日頃食べないスイーツを楽しみ、1年元氣であった事を喜び合う同窓会を延々40年続けている。残念なことに一昨年1人が他界したが、最後の1人になるまでこの会を続けるつもりでいる。

(維喉宏文)

關大の首都圏支部連合会各支部では、支部内だけでなく支部間の交流も盛んで、昨年11月の明治神宮野球大会の際も各支部から応援を出し、關大野球部は延長タイブレークで惜敗したが、応援合戦では圧勝し

らずグロスの部で団体戦(上位5人のグロス平均)・個人戦(グロス74・清水孝弘・54工)ともに優勝!、ハンディキャップ戦の優勝は慶応大学だった。

第32回大会は、1月17日厳寒の中、埼玉県日本CCで開催され、關大OBチームは健闘むなしく23チーム中12位、優勝は同志社大学だった。優勝チームは母校の学歌を全員の前でアカペラで斉唱できる。次回大会では優勝して關大を高くに斉唱するべく、關大ゴルフ好きOBは首都圏各支部のゴルフコンペ等で一層の実力向上を誓っている。

参加者19人プレー楽しむ 第45回ゴルフ親睦会開催

神戸支部(織戸新支部長)は11月18日、三木市の三木セブンハンドレッド倶楽部で第45回ゴルフ親睦会を開催した。好天に恵まれたこの日の参加者は19人、ダブルペリア上限なしのルールでテクニカルなコースと難しいグリーンに悩まされながらも、親睦を深めつつプレーを楽しんだ。

プレー終了後、表彰式が行われ、入賞者に豪華食料品とラツキーセブン賞ゴルフバッグが手渡された。ベスグロは腰痛からカムバックした大藤博範氏(45文)、優勝は単にハンディに恵まれただけの大倉敏郎(57社)、準優勝はいつも安定したゴルフの原田宏(42法)、3位は今回参加者中最年長の安居恒男(31経)の各氏だった。

(幹事 大倉敏郎・57社)
(東光商会) 078-453-2211

た。改めて「カイザー關大」の総合力を見せつける事ができ、更には海外の關大校友会と積極交流している校友も多く、「グロ―バル關大」の素晴らしさを実感させられる。

(埼玉支部 信本良平)
(信本良平) 090-9341-0357



1月15日、東京・築地で第152回芥川賞・直木賞の選考会が開催され、校友の西加奈子さん(平12学法)の『サラバ!』(小学館)が直木賞に選ばれた。本学関係者が同賞を受賞するのは初めてのこと。

西さんは、卒業後、フリーライターなどを経て、2004年『あおい』で作家デビューし、05年第2作『さくら』が20万部を超えるベストセラーになった。08年『通天閣』で第24回織田作之助賞受賞、13年『ふくわらい』で第1回河合隼雄物語賞受賞(第148回直木賞候補作)。他に映画化された『きいろいゾウ』、『円卓』など小説・エッセイが多数。

今回の受賞作『サラバ!』

校友トピックス

西加奈子さんが小説『サラバ!』で第152回直木賞受賞



期間は3月30日まで。期間中に展示図書購入の方には「出版部オリジナルバツグ」のプレゼントがある。

初の「出版部フェア」を3月末まで開催中
MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店

関西大学出版部では、学術図書の一層の普及を目指した初の試みとして「関西大学出版部フェア」を、3月1日からMARUZEN&ジュンク堂書店梅田店（大阪市北区茶屋町・チャス力茶屋町5階）で開催している。

開催に当たり、社会学部で消費者心理を学ぶ学生約10人に協力を依頼。学生たちが考えたテーマは「関大、ちらい。」——新たな学びがここにある——。

展示販売される各図書には、1点1点、学生ならではの視点で展示ポップを制作して紹介、来店者の目を引いており、学術図書のイメージを変える企画となっている。

さらに「法律」から「笑い」まで、関大の学びは幅広い！そんな関大で行われた研究が本になりました。新刊中心の60タイトル、ぜひ手に取ってご覧ください」とキャッチコピーが続く。

制に取り組んだ。これは、西南戦争後に急速に盛り上がる土佐の板垣退助らの自由民権運動や、明治17（1884）年の秩父コミューン（自治共同社会）に先駆けるものであった。

熊本協同隊は、夢実現のため理念に反して西郷隆盛率いる薩軍に与（くみ）して、政府軍と

の絶望的な戦いに一縷の望みを託すが、田原坂の決戦に敗退し、山鹿からの撤退も余儀なくされ、薩軍と共に九州山地を彷徨することになる。

「西南戦争の遺聞（世に知られていない話）」として『自由民権のまち やまが』の試行を多くのの人に知って貰えれば」と著

お悔み申し上げます

者は述べている。
 購入希望者は、オフィス・パイン（FAX 0944-73-1799）へ。代金は税込金額1620円+送料300円の1920円。また、ネットのAmazon（amazon）でも取り扱っている。（編集子）

前田敏男氏（まえだ・としお）昭25専2国、平成26年7月11日死去。88歳。西宮市。

村岡威彦氏（むらおか・たけひこ）昭40学法、元ワークステーション常務取締役。8月9日死去。72歳。大津市。

村西謙治氏（むらにし・けんじ）昭46学商、元コクヨ勤務。8月19日死去。67歳。宇治市。

伊藤 保氏（いとう・たもつ）昭17専2経。8月30日死去。95歳。尼崎市。

松本 実氏（まつもと・みのる）昭33学経、元（社）日本消防器工業会大阪事務所長。校友会代議員。10月29日死去。79歳。大阪市。

植村正夫氏（うえむら・まさお）昭31学2法。11月21日死去。88歳。大阪市。

山本俊雄氏（やまと・としお）昭20大予・23大法。11月21日死去。90歳。大阪市。

大森 進氏（おおもり・すすむ）昭37学法、元四国フェリー勤務。11月26日死去。74歳。香川県土庄町。

工藤英徳氏（くどう・ひでのり）昭50学法、味の嵯峨常務取締役。12月1日死去。63歳。八代市。

植田 穰氏（うえた・みのる）昭23大予・25学経、税理士・不動産鑑定士。12月29日死去。87歳。東大阪市。

北乗吉道氏（きたのり・よしみち）昭47学文、（社福）広島県肢体障害者連合会常務理事。山口千里会副会長・事務局長、校友会代議員。12月31日死去。65歳。山口市。

岡田 健氏（おかだ・たけし）平10学工・12M工、（財）三重県環境保全事業団。12月31日死去。39歳。四日市市。

阿部 進氏（あべ・すすむ）昭41一高・45学文、（有）安全土地建物前代表取締役。前校方支部長、校友会代議員、レスリング部OB。平成27年1月2日死去。67歳。枚方市。

山本定夫氏（やまと・さだお）昭35一高・39学法、コンチダインング代表取締役。泉佐野支部支部長、校友会代議員、レスリング部OB。1月3日死去。72歳。泉佐野市。

駒井久徳氏（こまい・ひさのり）昭55一高・59学文、大阪南マツダ。1月5日死去。53歳。高石市。

山野 勉氏（やまの・つとむ）昭32学経。1月15日死去。81歳。和歌山市。

倉橋貞一氏（くらはし・ていいち）昭18専1経、元伊丹市議会議員。1月18日死去。91歳。伊丹市。

古田耕正氏（ふるた・やすまさ）昭43学文、元熊本ホテルキャッスル監査役、元三井アバンホテル福岡支配人。前熊本県支部支部長、元校友会代議員。1月19日死去。70歳。菊池市。

今津文雄氏（いまづ・ふみお）昭44学2経、JRI（株）かに道楽代表取締役社長。元校友会常議員、校友会代議員。1月20日死去。68歳。大阪市。

大西直人氏（おおにし・なおと）昭55学経、高槻砕石代表取締役社長。高槻島本支部副支部長、校友会代議員。2月7日死去。58歳。高槻市。

服部兵衛氏（はつとり・ひょうえ）昭42学商、クリヤマ代表取締役会長。2月13日死去。70歳。箕面市。

滝井繁男氏（たきい・しげお）法科大学院特別顧問教授。元最高裁判事。2月28日死去。78歳。大阪市。

(株)ブライダルは
関西大学校友の皆様の
「結婚」を応援します。

 Bridal



結婚

37年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に関西大学校友の皆様には平成16年より「関大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にてお世話させていただきます。

関大コース 登録料
50%OFF

ブライダルコース
¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.

エクセレントコース
¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。
詳しくは(株)ブライダルと検索してください。

(株)ブライダル

検索

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>

<http://www.bridal-vip.net/m/>

右のQRコードにて携帯サイトにアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



37年の実績
株式会社

ブライダル

名古屋本社

〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F

Network/東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

